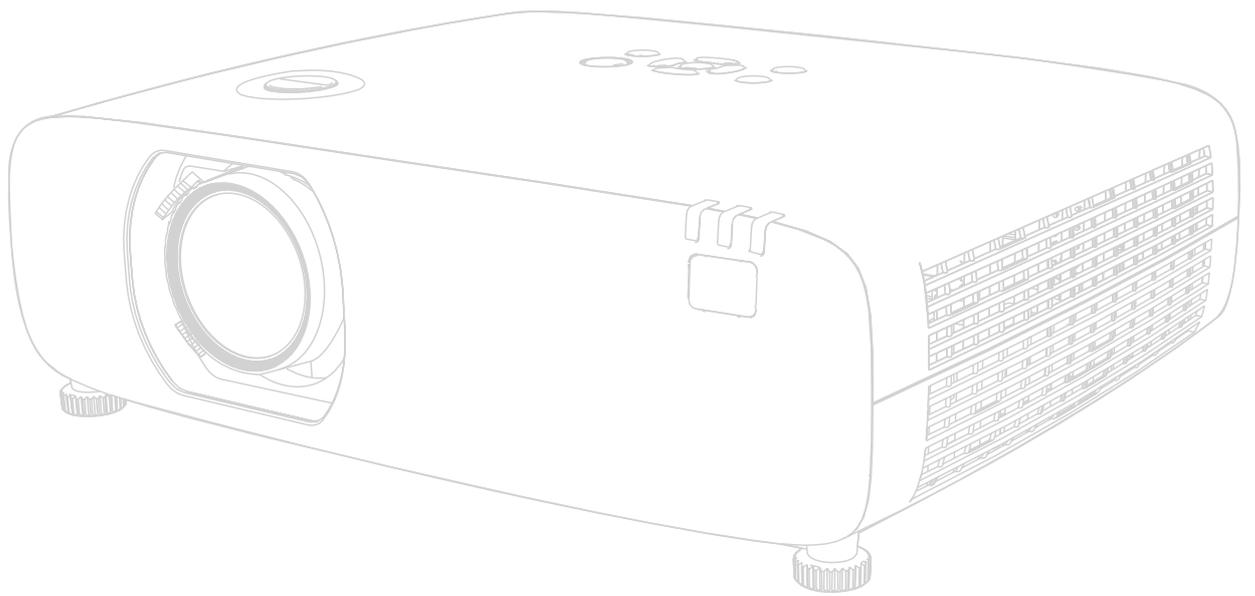


# LSC520WU

# LSC521WU

プロジェクター  
ユーザーガイド



## **ViewSonic®をお選びいただき、 ありがとうございます。**

ViewSonic®は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic®では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択されたViewSonic®製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic®をお選びいただき、  
誠にありがとうございます。

# 安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低50cmは、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターのランプが点灯しているときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- 動作中はランプが非常に高温になります。交換のためにランプアセンブリを取り外す前に、プロジェクターを約45分間冷却してください。
- 定格ランプ寿命を超えてランプを使用しないでください。定格寿命を超えて過度にランプを使用すると、まれにランプが破損する可能性があります。
- プロジェクターの電源プラグを抜かない限り、ランプアセンブリまたは電子部品を交換しないでください。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。

- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、最寄りのサービスセンターに電話して、プロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100～240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置(UPS)を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店またはViewSonic®にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。

**注意：** この製品から、危険な光放射が放出される可能性があります。他の明るい光源と同様に、光線を見つめないでください。

#### クラス1消費者向けレーザー製品EN50689:2021

- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所からプロジェクターの光線を見つめないように注意してください。
- 投影レンズの前に立ち、プロジェクターをリモコンで起動する場合は注意が必要です。
- ビーム内では双眼鏡や望遠鏡などの光学機器を使用しないようにユーザーに通知してください。



RG2 IEC 62471-5:2015。

# 安全上のご注意 - 天井取り付け

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、適切なプロジェクター天井取り付けキットを使用し、しっかりと安全に取り付けられていることを確認することを強くお勧めします。

不適切なプロジェクター天井取り付けキットを使用すると、間違ったゲージや長さのネジを使用することによる不適切な取り付けにより、プロジェクターが天井から落下する可能性があります。

# 内容

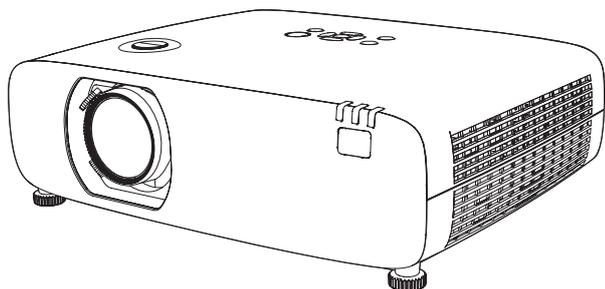
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
<b>はじめに</b> .....	<b>8</b>
付属品.....	8
各部の名称.....	10
プロジェクター.....	10
キーパッド.....	11
入出力ポート.....	12
リモコン.....	13
<b>セットアップ</b> .....	<b>17</b>
場所の選択 - 投影方向.....	17
投影寸法.....	18
プロジェクターの取り付け.....	22
セキュリティバーの使用.....	22
<b>本体の接続</b> .....	<b>23</b>
電源との接続.....	23
外付け機器への接続.....	24
VGA接続.....	24
VGA出力接続.....	25
コンポジットビデオ接続.....	26
HDMI接続.....	27
オーディオ接続.....	28
USB接続.....	29
ネットワーク接続.....	31
RS-232接続.....	32
HDBaseT接続.....	33
<b>プロジェクターの使用方法</b> .....	<b>34</b>
プロジェクターの電源をオンにする.....	34
入力ソースを選択する.....	35
投影画像を調整する.....	36
プロジェクターの高さと投影角度を調整する.....	36
フォーカス、キーストーン、レンズシフトの調整.....	37
プロジェクターの電源をオフにする.....	38

<b>メニュー操作</b> .....	<b>39</b>
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー .....	39
メニューナビゲーション .....	40
メインメニュー構成 .....	41
メニューオプション .....	47
Display (ディスプレイ) .....	47
Image Settings (画像設定) .....	49
Settings (設定) .....	51
Advanced (高度) .....	53
USB A .....	58
Information (情報) .....	60
<b>付録</b> .....	<b>61</b>
仕様 .....	61
プロジェクターの寸法 .....	62
タイミングチャート .....	63
HDMI信号 .....	64
トラブルシューティング .....	65
LEDインジケーター .....	67
メンテナンス .....	68
お手入れの際の注意 .....	68
レンズを清掃する .....	68
ケースのお手入れ .....	68
プロジェクターを保管する .....	68
フィルターの清掃 .....	69
<b>規制および補修情報</b> .....	<b>70</b>
コンプライアンス情報 .....	70
FCC 準拠宣言 .....	70
Industry Canada Statement .....	70
欧州諸国のCE適合 .....	71
RoHS2 準拠宣言 .....	72
インドの有害物質に関する制限 .....	73
廃棄処分について .....	73
著作権情報 .....	74
カスタマーサービス .....	75
限定保証 .....	76

# はじめに

## 付属品

LSC520WU



①



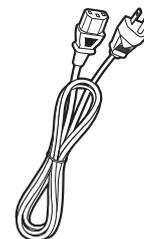
②



③



④

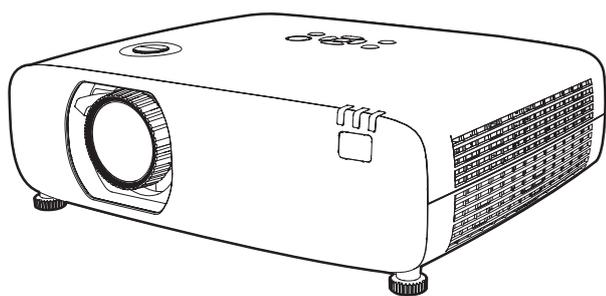


⑤

数	説明
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

**注記：** 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

# LSC521WU



①



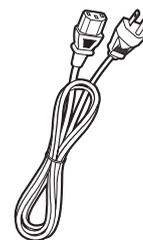
②



③



④



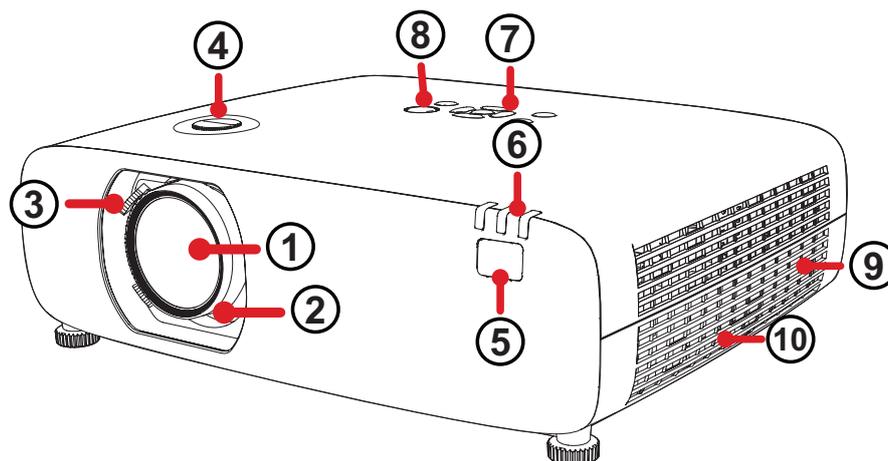
⑤

数	説明
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

**注記：** 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

# 各部の名称

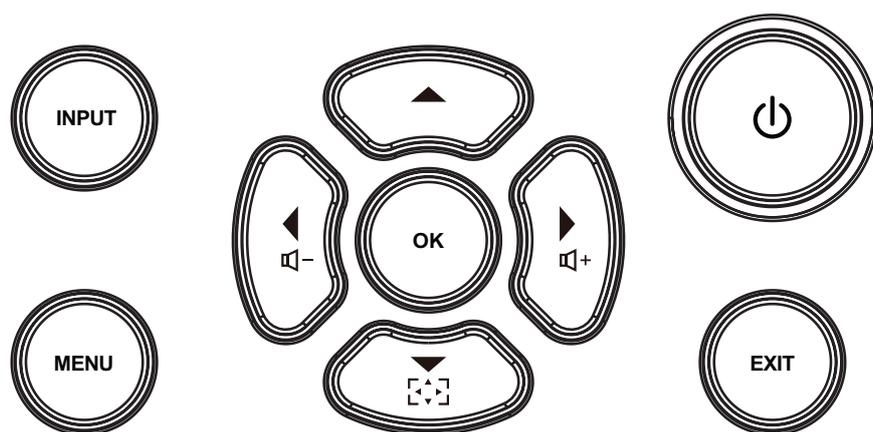
## プロジェクター



数	説明
1	投影レンズ
2	フォーカスリング
3	ズームリング
4	レンズシフト (V)
5	リモコンIRセンサー
6	LEDインジケーター
7	キーパッド
8	電源ボタン
9	通気孔
10	フィルター

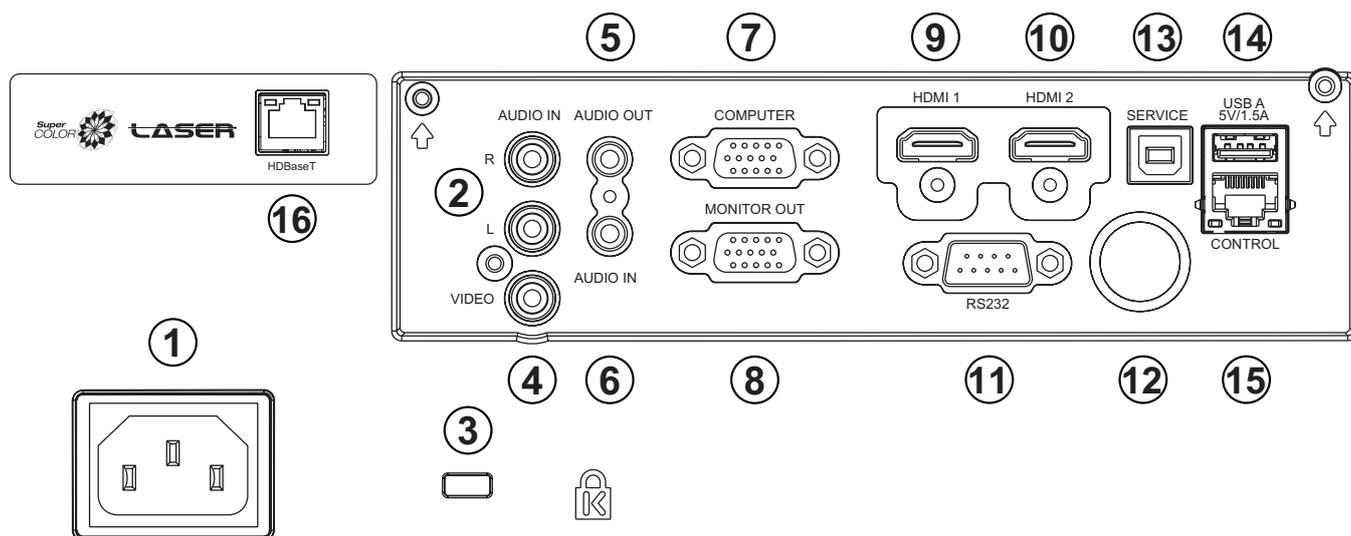
**注記：** プロジェクターの通気口(吸気)および通気口(吸気)を塞がないでください。

## キーパッド



ボタン		説明
INPUT	入力	入力ソース選択バーを表示します。
MENU	メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
EXIT	終了	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを閉じます。
◀▶▲▼	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
🔊+ 🔊-	音量	音量を調整します。
⏏	キーストーン	角度の付いた投影によって生じた歪んだ画像を修正するためのKeystone (キーストーン) メニューを開きます。

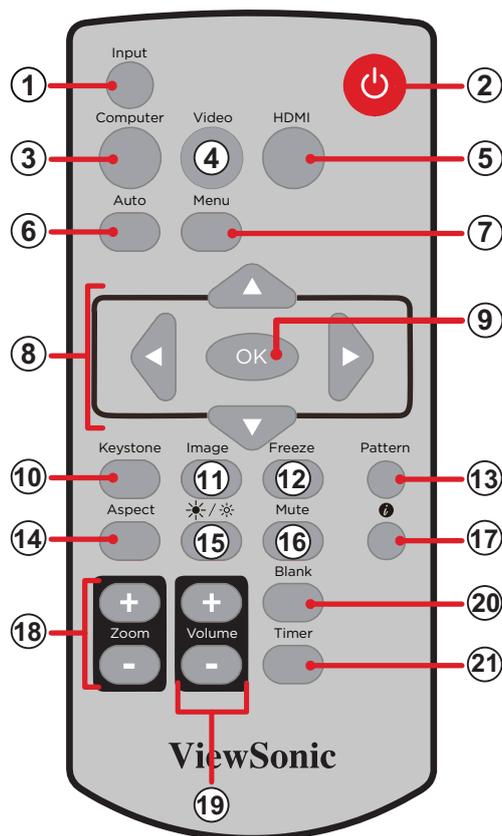
# 入出力ポート



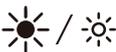
ポート		説明
1	AC入力	AC入力ソケット。
2	音声入力 (L/R)	ステレオ音声信号の接続。
3	セキュリティロック	プロジェクターを固定物に固定するためのセキュリティスロット。
4	ビデオ	コンポジットビデオポート。
5	音声出力	音声信号出力ポート。
6	音声入力	音声信号入力ポート。
7	コンピューター	RGB (PC) 信号入力ポート。
8	モニター出力	RGB (PC) 信号出力ポート。
9	HDMI 1	HDMIポート。
10	HDMI 2	HDMIポート。
11	RS-232	RS-232制御ポート。
12	リモコンIRセンサー	IRセンサー。
13	サービス	サービスおよびUSBディスプレイ用のUSB Type Bポート。
14	USB A 5V/1.5A	リーダー (USB 2.0、FAT32) と電源用のUSB Type Aポート。
15	コントロール	LAN制御ポート。
16	HDBaseT <sup>1</sup>	HDBaseTポート。

1- LSC521WUのみ。

# リモコン



ボタン		説明
1	入力	ソース選択バーを表示します。
2		プロジェクターの電源をオフまたはオフにする。
3	コンピューター	VGA入力ソースを選択します。
4	ビデオ	ビデオ入力ソースを選択します。
5	HDMI	HDMI 1またはHDMI 2入力ソースを選択します。
6	自動	自動調整モードに入ります。
7	メニュー	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオン/オフにします。
8	ナビゲーション ボタン	目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。
9	OK	選択を確定します。
10	キーストーン	歪んだ画像を手動で修正します。

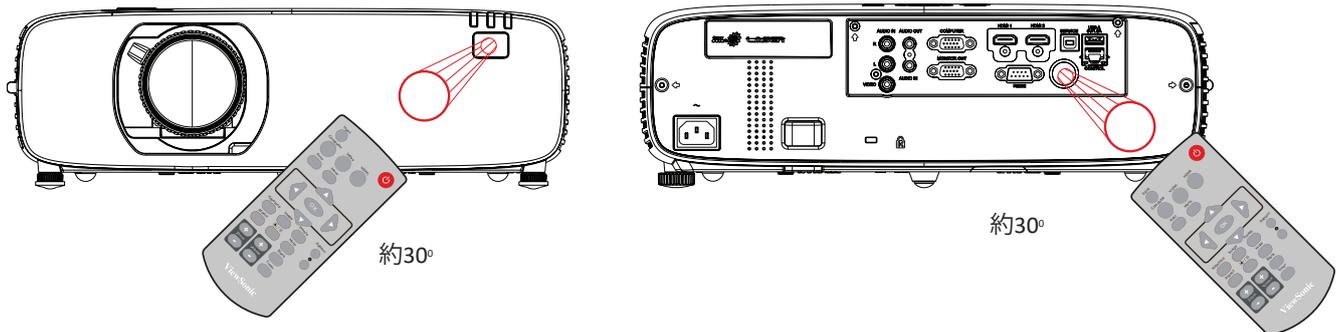
ボタン		説明
11	画像	画像モードを選択します。
12	フリーズ	投影される画像をフリーズします。
13	パターン	埋め込まれたテストパターンを表示します。
14	アスペクト	アスペクト比選択バーを表示します。
15	 / 	光源モードを選択します。
16	ミュート	音声をオンまたはオフにします。
17		プロジェクターの現在のステータスと情報を表示します。
18	ズーム	投影される画像のサイズを拡大または縮小します。
19	音量	音量を上げたり下げたりします。
20	空白	投影された画像を一時的に非表示にします。
21	タイマー	タイマー機能を有効にします。

## リモコン - 受信機の範囲

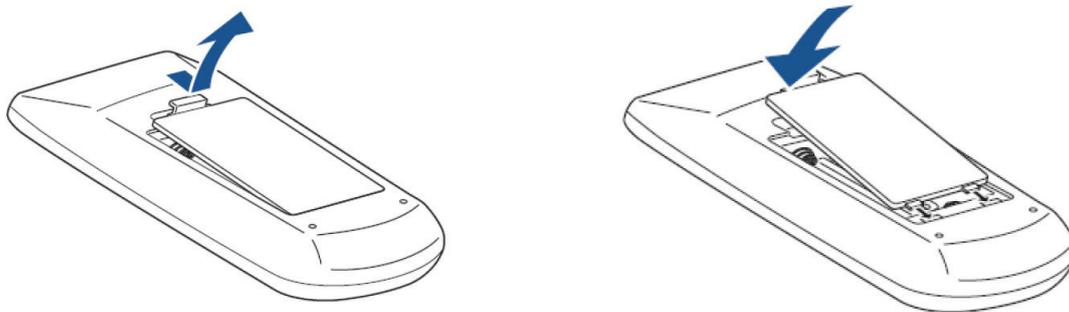
リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサー間の距離は6 m (19フィート) を超えないようにしてください。

**注記：** 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。



## リモコン - 電池の交換



1. リモコンの下部にある電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。  
**注記：** 表示されているように電池の極性を確認してください。
3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。

### **注記：**

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

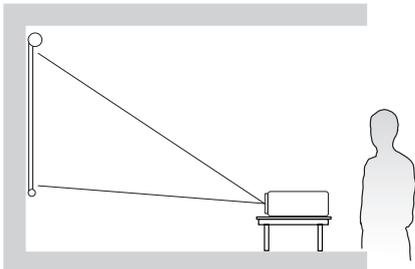
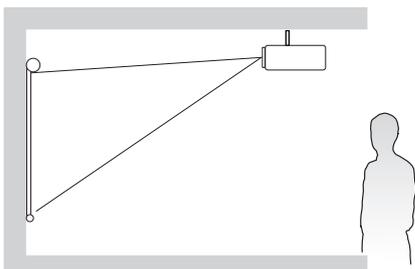
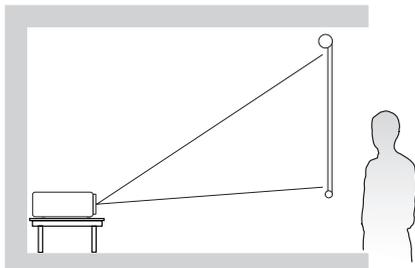
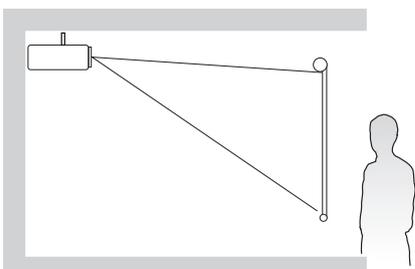
# セットアップ

## 場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

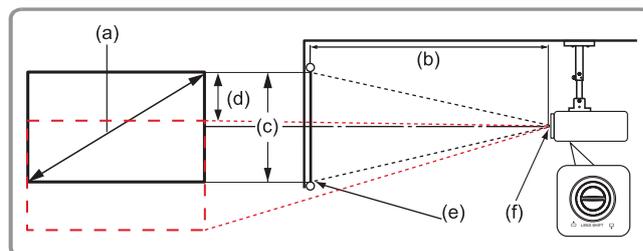
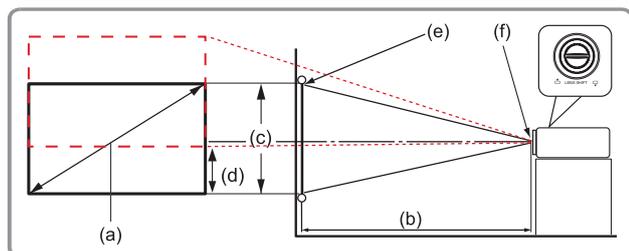
場所	
<p><b>フロント</b></p> <p>プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。</p>	
<p><b>天井フロント</b></p> <p>プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	
<p><b>リア<sup>1</sup></b></p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。</p>	
<p><b>天井リア<sup>1</sup></b></p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	

**注記：** プロジェクターの位置として**自動天井/フロント**または**自動天井/リア**を選択すると、プロジェクターは自動的に前面投影とみなされます。

# 投影寸法

LSC520WU

16:10スクリーン上の16:10画像



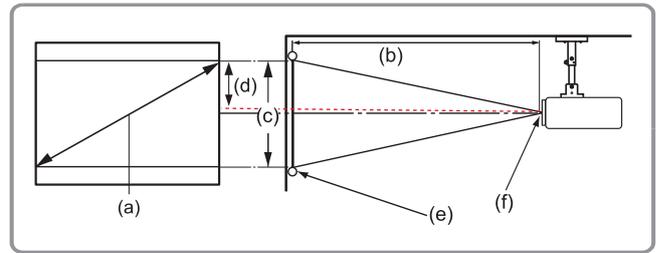
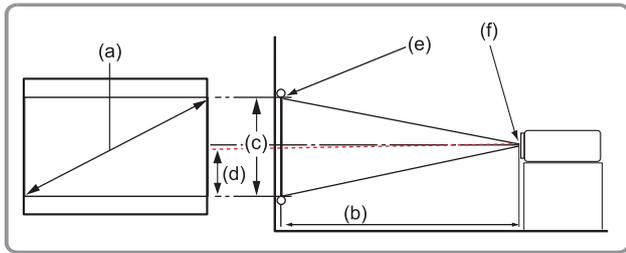
注記：(e) = スクリーン/(f) = レンズの中心

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	26.76	680	44.15	1121	15.90	404	7.15	182
60	1524	54.68	1389	89.43	2272	31.80	808	14.31	363
70	1778	63.98	1625	104.53	2655	37.10	942	16.69	424
80	2032	73.28	1861	119.62	3038	42.40	1077	19.08	485
90	2286	82.59	2098	134.72	3422	47.70	1212	21.46	545
100	2540	91.89	2334	149.82	3805	53.00	1346	23.85	606
120	3048	110.50	2807	180.01	4572	63.60	1615	28.62	727
150	3810	138.41	3516	225.29	5722	79.50	2019	35.77	909
180	4572	166.33	4225	270.58	6873	95.40	2423	42.93	1090
200	5080	184.94	4697	300.77	7640	106.00	2692	47.70	1212
250	6350	231.46	5879	376.25	9557	132.50	3365	59.62	1514
300	7620	277.98	7061	451.73	11474	159.00	4039	71.55	1817

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

## 4:3スクリーン上の16:10画像



注記：(e) = スクリーン/(f) = レンズの中心

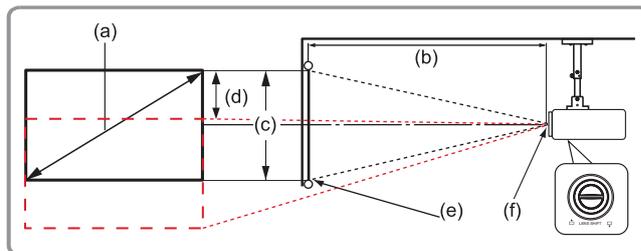
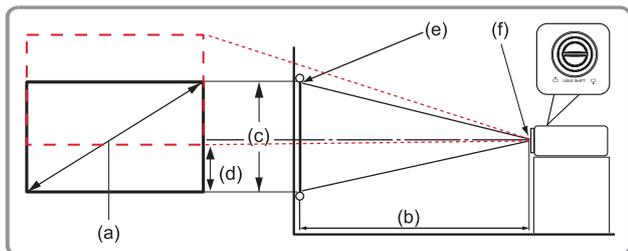
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	25.91	658	42.24	1073	15.00	381	6.73	171
60	1524	51.73	1314	84.33	2142	29.96	761	13.48	342
70	1778	60.43	1535	98.50	2502	34.96	888	15.73	400
80	2032	69.11	1755	112.64	2861	39.98	1015	17.99	457
90	2286	77.74	1975	126.72	3219	44.98	1142	20.24	514
100	2540	86.38	2194	140.80	3576	49.97	1269	22.49	571
120	3048	103.66	2633	168.96	4292	59.97	1523	26.99	685
150	3810	129.57	3291	211.20	5364	74.96	1904	33.73	857
180	4572	155.49	3949	253.44	6437	89.95	2285	40.48	1028
200	5080	172.76	4388	281.60	7153	99.94	2539	44.98	1142
250	6350	215.96	5485	352.00	8941	124.93	3173	56.22	1428
300	7620	259.15	6582	422.40	10729	149.92	3808	67.46	1714

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

# LSC521WU

## 16:10スクリーン上の16:10画像



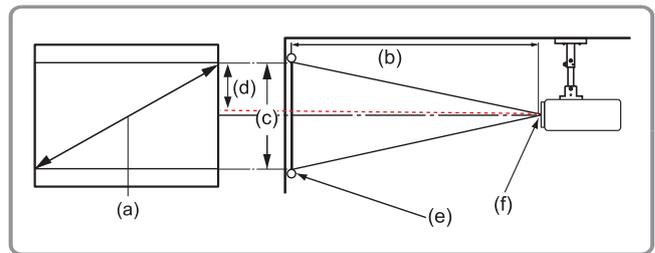
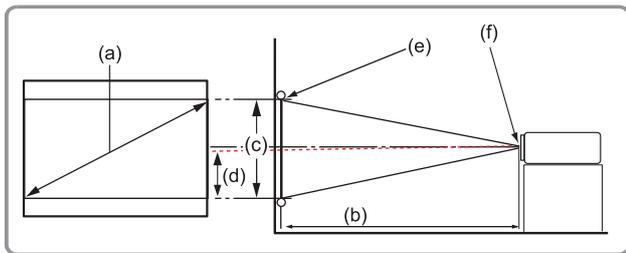
注記：(e) = スクリーン/(f) = レンズを中心

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセ ット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	30.10	765	49.54	1258	16	404	9.54	242
60	1524	61.59	1564	100.40	2550	32	808	19.08	485
70	1778	72.09	1831	117.35	2981	37	942	22.26	565
80	2032	82.59	2098	134.31	3411	42	1077	25.44	646
90	2286	93.09	2364	151.26	3842	48	1212	28.62	646
100	2540	103.58	2631	168.21	4273	53	1346	31.80	808
120	3048	124.58	3164	202.12	5134	64	1615	38.16	969
150	3810	156.07	3964	252.98	6426	79	2019	47.70	1212
180	4572	187.56	4764	303.85	7718	95	2423	57.24	1454
200	5080	208.56	5297	337.75	8579	106	2692	63.60	1615
250	6350	261.05	6631	422.52	10732	132	3365	79.50	2019
300	7620	314	7964	507.29	12885	159	4039	95.40	2423

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

## 4:3スクリーン上の16:10画像



注記：(e) = スクリーン/(f) = レンズの中心

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	762	28.82	732	48.23	1225	15.00	381	9.00	229
60	1524	57.60	1463	96.50	2451	30.00	762	18.00	457
70	1778	67.20	1707	112.56	2859	35.00	889	21.00	533
80	2032	76.81	1951	128.62	3267	40.00	1016	24.00	610
90	2286	86.41	2195	144.70	3675	45.00	1143	27.00	686
100	2540	96.01	2439	160.78	4084	50.00	1270	30.00	762
120	3048	115.22	2926	192.93	4900	60.00	1524	36.00	914
150	3810	144.02	3658	241.17	6126	75.00	1905	45.00	1143
180	4572	172.82	4390	289.40	7351	90.00	2286	54.00	1372
200	5080	192.03	4877	321.55	8167	100.00	2540	60.00	1524
250	6350	240.03	6097	401.94	10209	125.00	3175	75.00	1905
300	7620	288.04	7316	482.33	12251	150.00	3810	90.00	2286

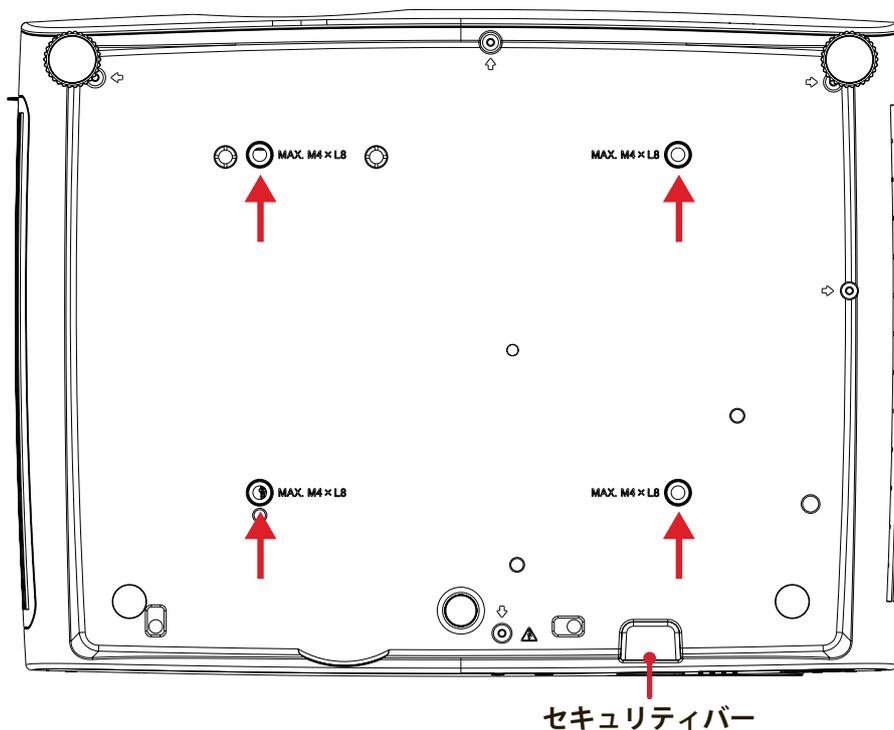
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

## プロジェクターの取り付け

**注記：** サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic®の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
  - ネジタイプ：M4 x 8
  - 最大ネジ長さ：8 mm



### 注意：

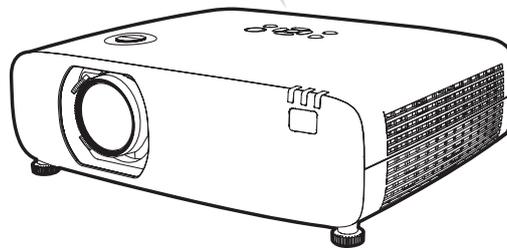
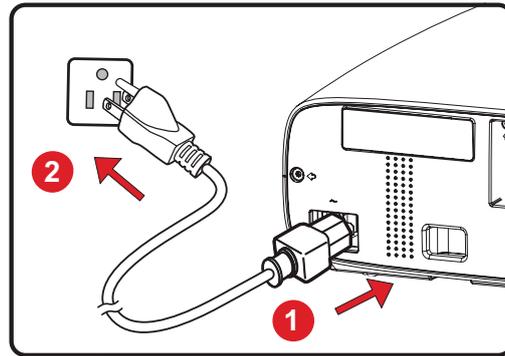
- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底部の間には少なくとも50 cm (19.6インチ) の隙間を空けてください。

## セキュリティバーの使用

プロジェクターの盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、プロジェクターを固定物に固定します。

# 本体の接続

## 電源との接続



1. プロジェクターの背面にあるAC入力ソケットに電源コードを接続します。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。

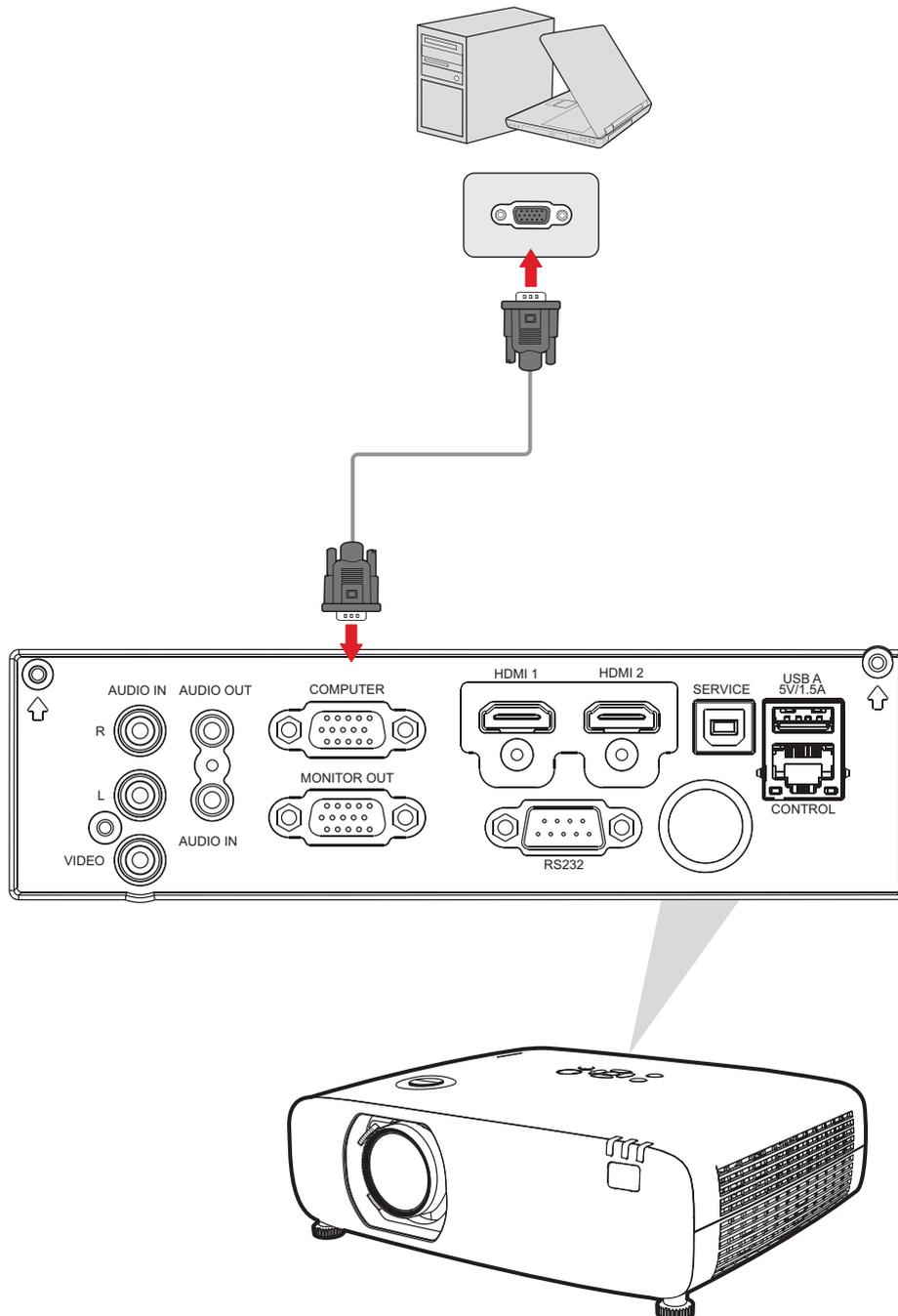
**注記：** プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

# 外付け機器への接続

## VGA接続

VGAケーブルの一方の端をコンピューターのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**コンピューター**ポートに接続します。

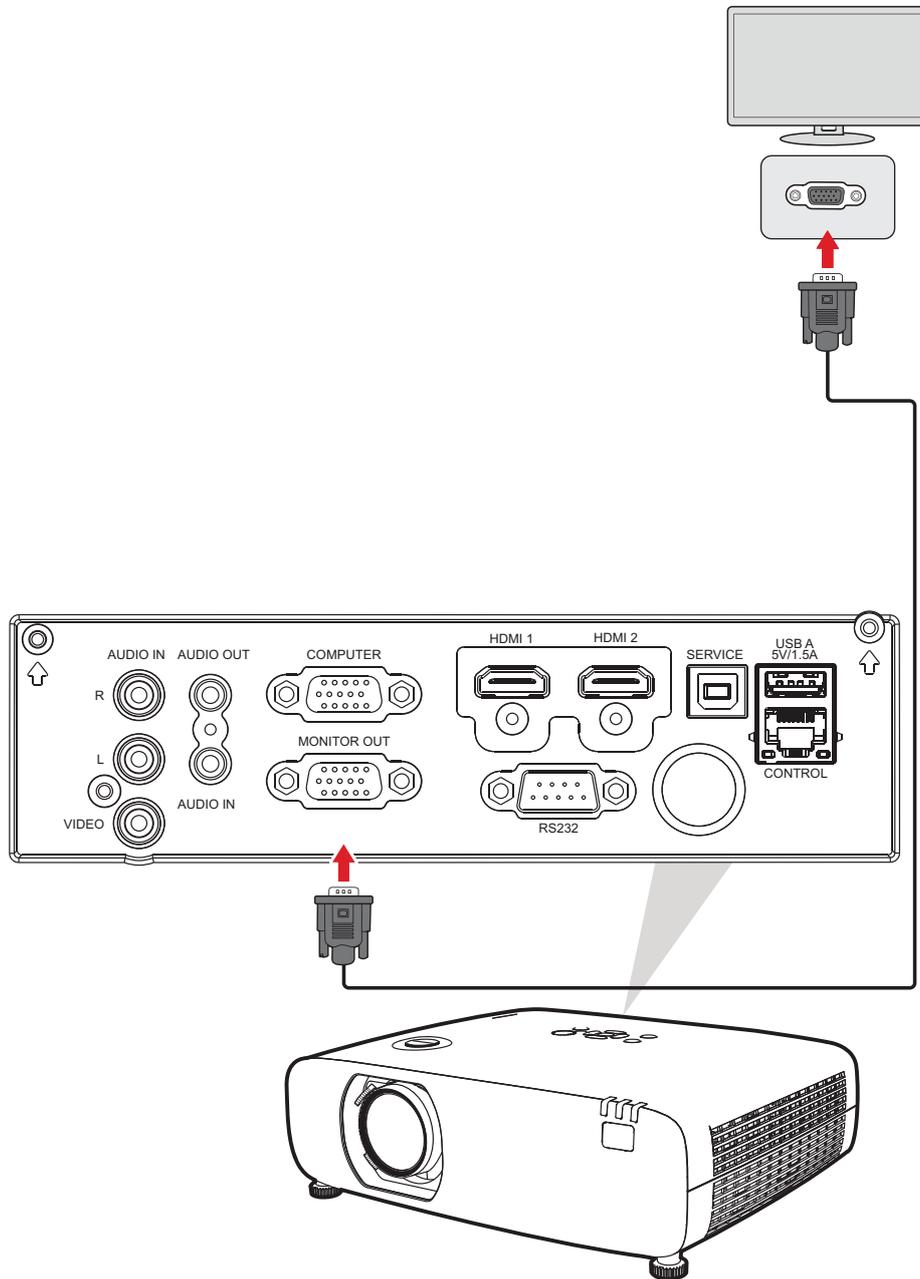
**注記：**一部のコンピューターは、プロジェクターに接続されているときに外部ディスプレイを自動的にオンにしない場合があります。コンピューターの投影設定を調整する必要がある場合があります。



## VGA出力接続

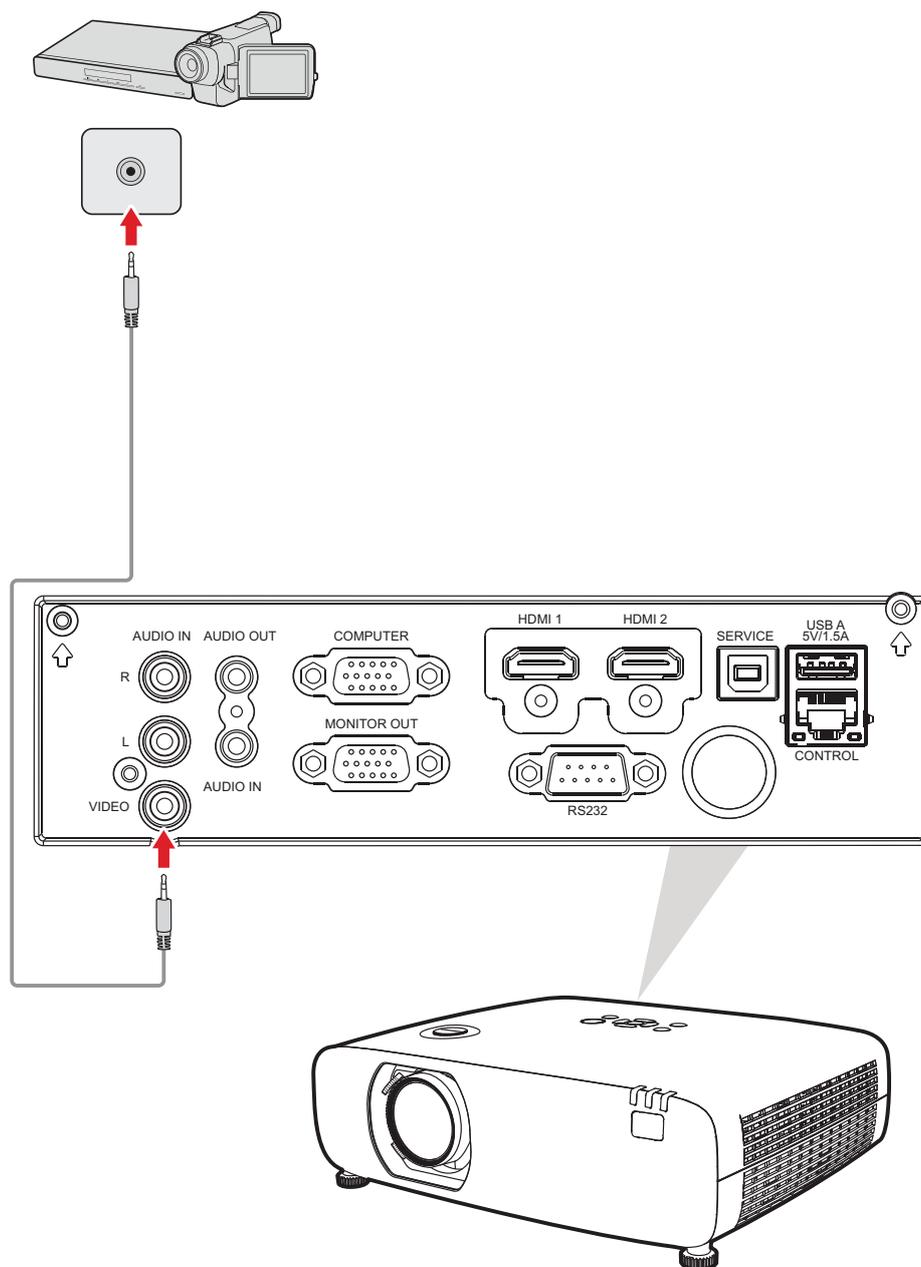
投影されたコンテンツをモニターで間近に表示したり、投影したりするには、モニターをプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続することができます。

VGA接続を確立したら、VGAケーブルの一方の端をモニターのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続します。



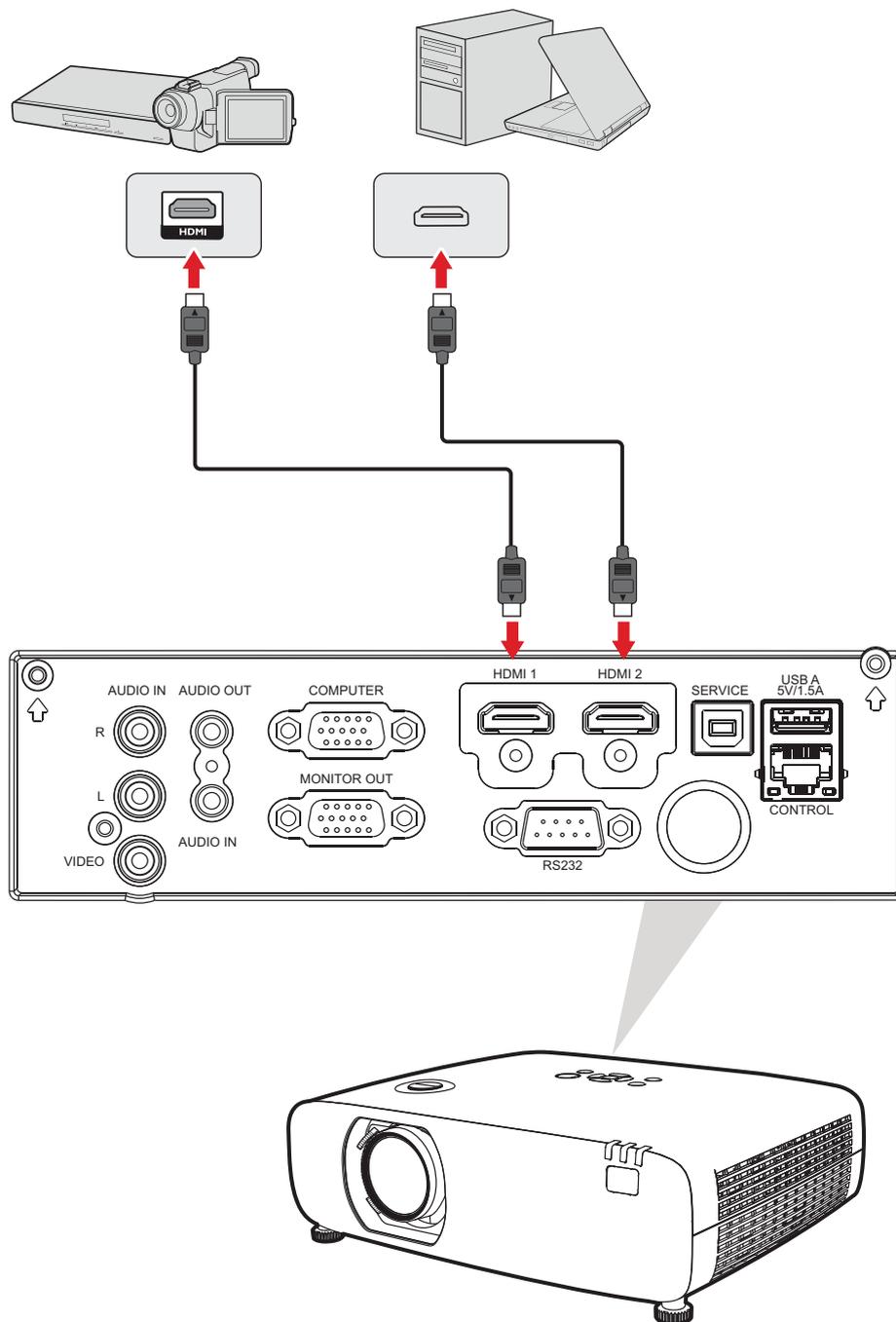
## コンポジットビデオ接続

ビデオケーブルの一方の端をビデオデバイスのビデオポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**ビデオ**ポートに接続します。



## HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターのHDMI 1またはHDMI 2ポートに接続します。



## オーディオ接続

プロジェクターは音声入力と音声出力の両方をサポートしています。

### 音声入力

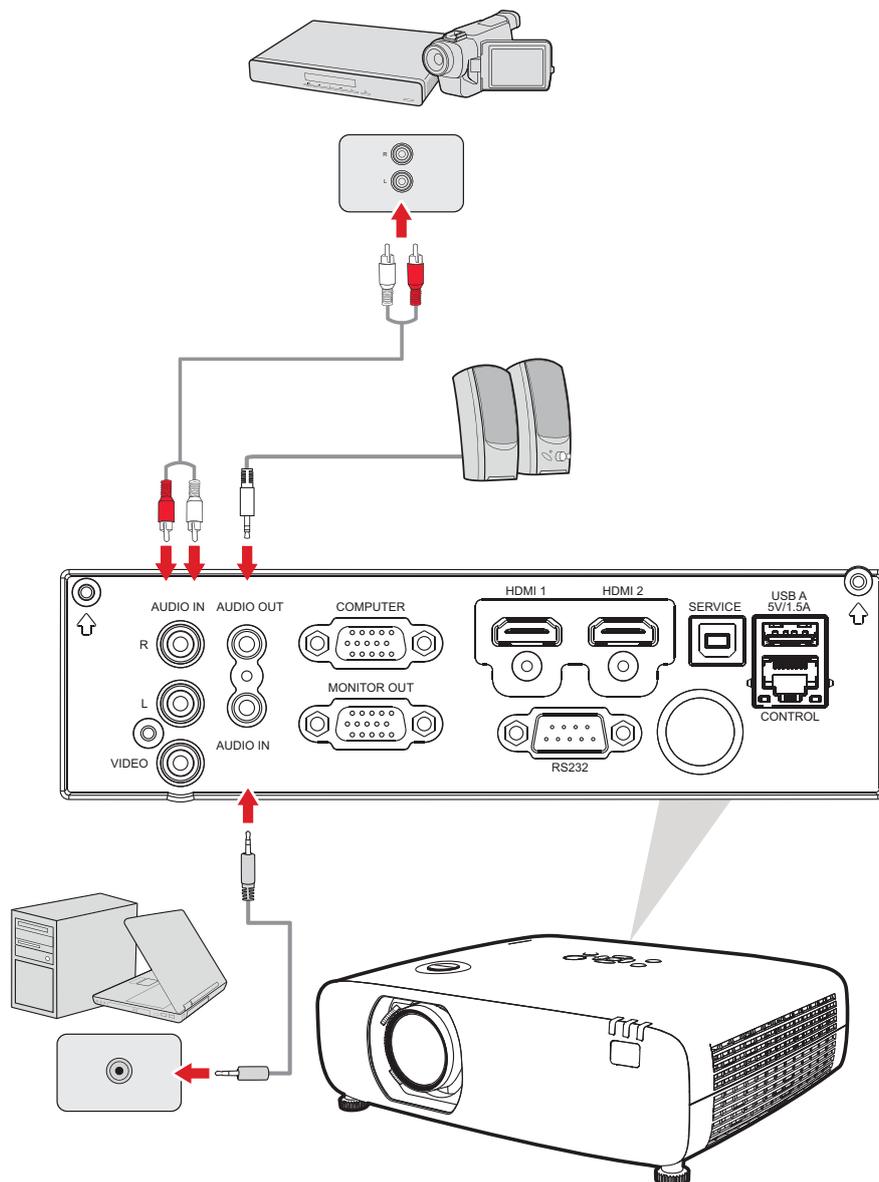
外部デバイスからの音声をプロジェクターのスピーカーで再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部デバイスに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**音声入力**ポートに接続します。

### 音声出力

プロジェクターから外部スピーカーを介して音声を再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部スピーカーに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**音声出力**ポートに接続します。

### R/L音声入力

外部デバイスからの音声をプロジェクターのスピーカーで再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部デバイスに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**R/L音声入力**ポートに接続します。



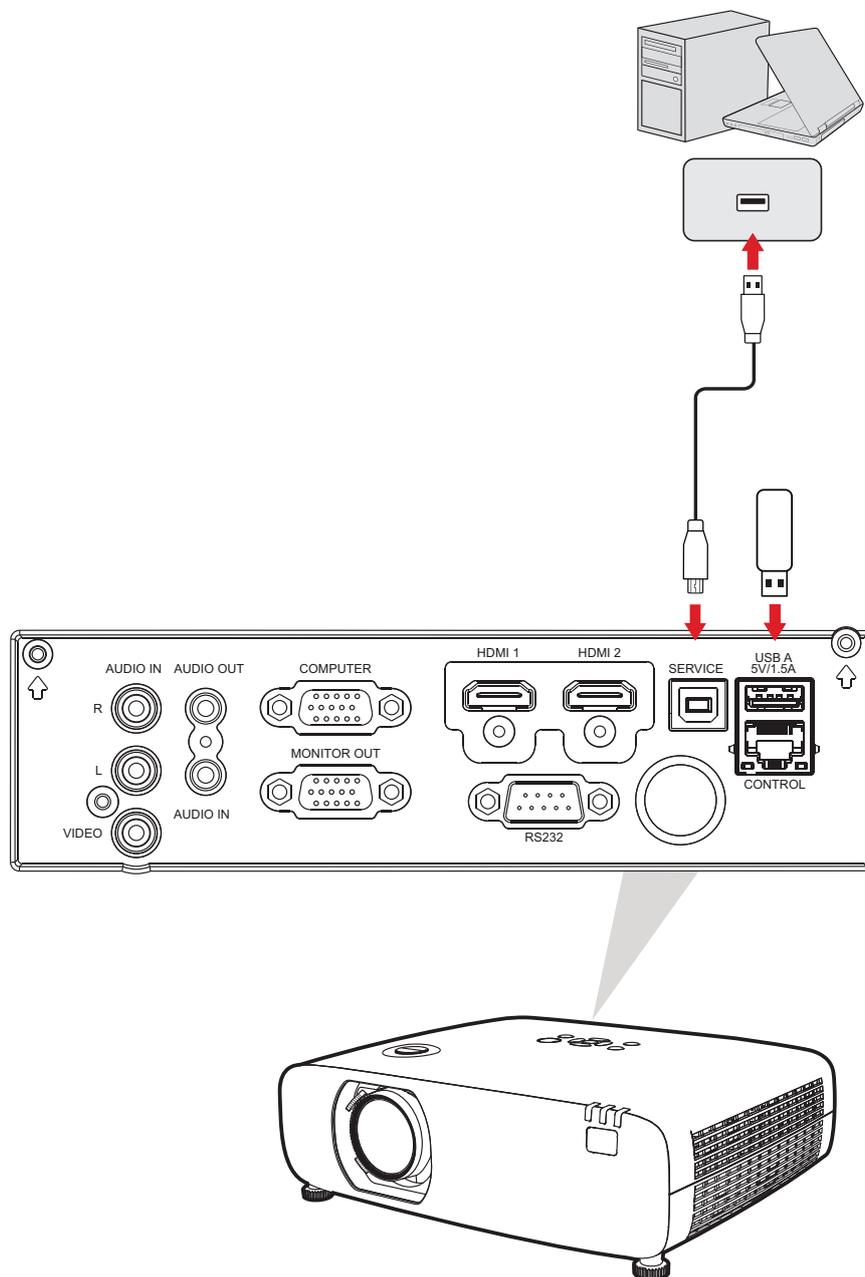
## USB接続

### USB Type A

USB Type Aポートは、リーダー (FAT32) と電源供給用です。

### USB Type B

USB Type BポートはサービスおよびUSBディスプレイ用です。



## USBディスプレイ

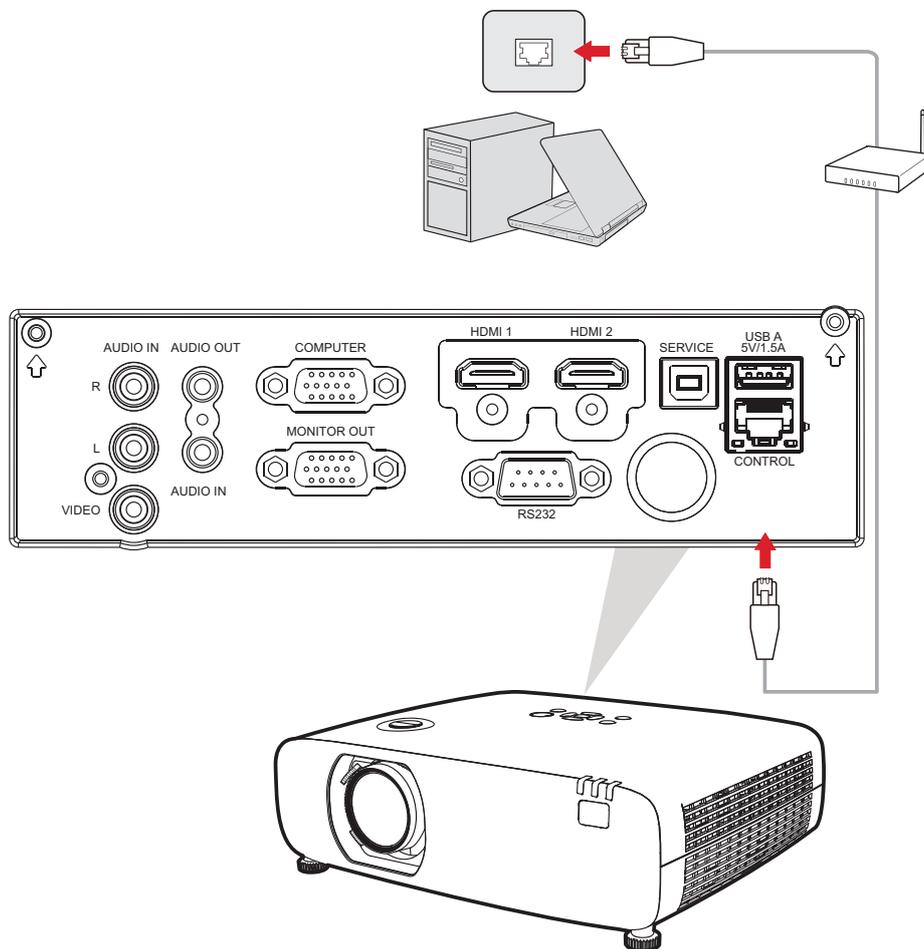
USBディスプレイはコンピューターの音声と画像を出力します。

1. USB Type Bケーブルの一方の端をコンピューターのUSBポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**サービス**ポートに接続します。
2. 接続すると、コンピューターはプロジェクターからpwPresenterドライバーを自動的に検出します。autorun.exeを選択してドライバーをインストールします。
3. リモコンの**Input (入力)** ボタンを押し、入力ソースメニューから**USB B**を選択して、コンピューターの画像を表示します。

## ネットワーク接続

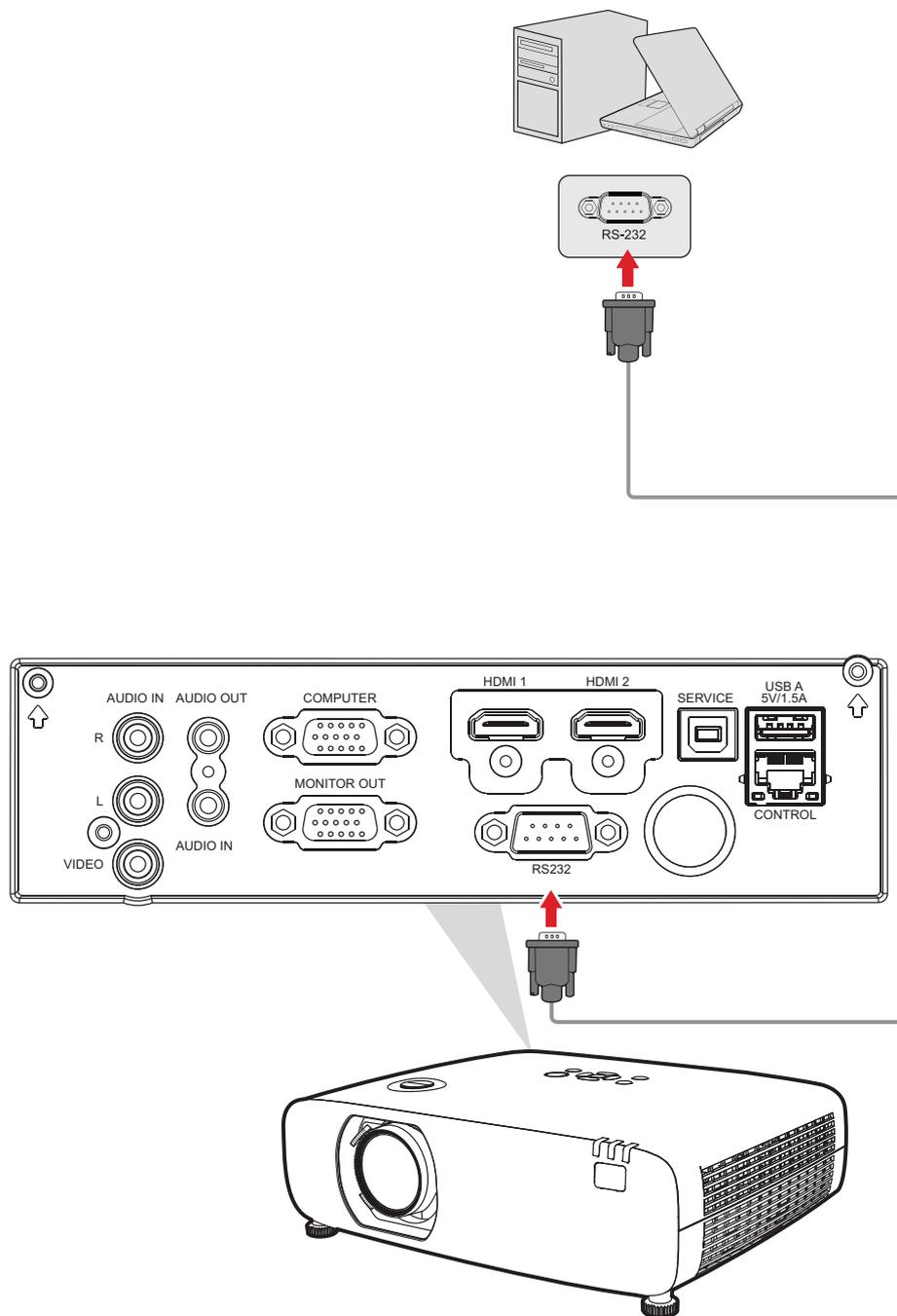
ネットワーク接続のために、ネットワークケーブルを**コントロール**ポートに差し込みます。

プロジェクターは、いくつかのネットワークおよびリモート管理機能を提供します。プロジェクターのLAN/RJ45機能により、ネットワーク経由でプロジェクターを遠隔操作できます。



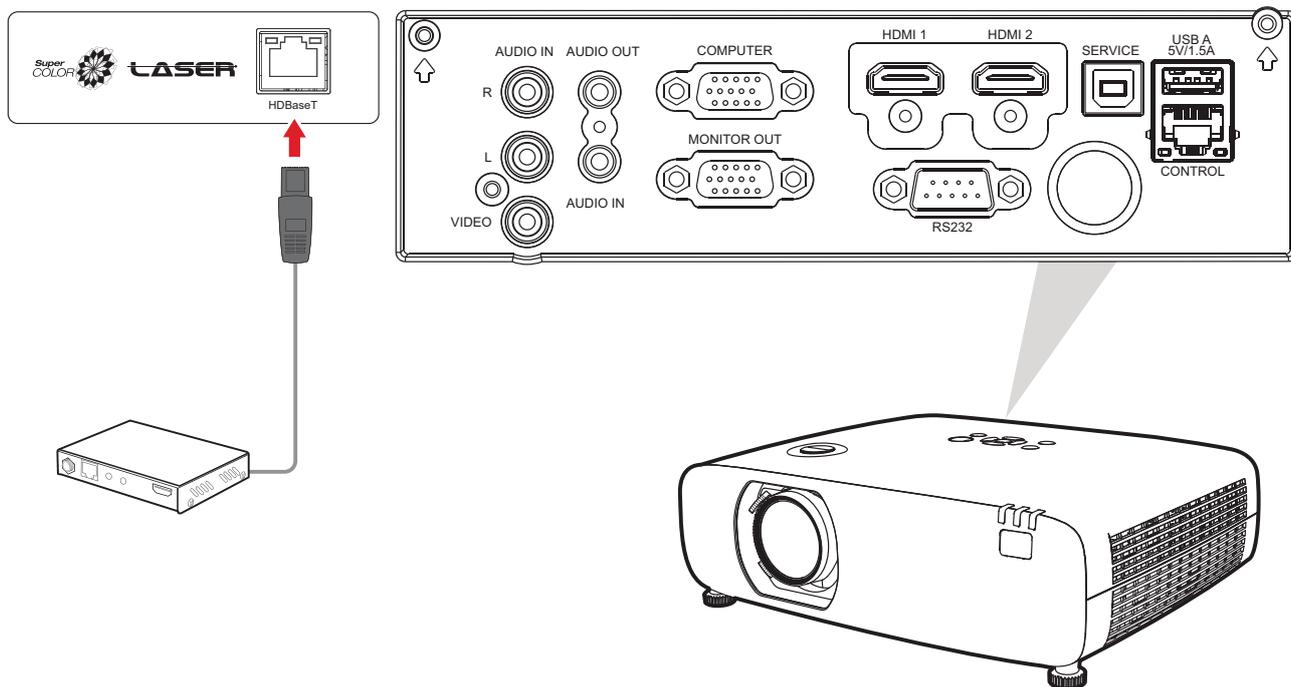
## RS-232接続

RS-232シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピューターに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能をPCからリモートで制御できます。



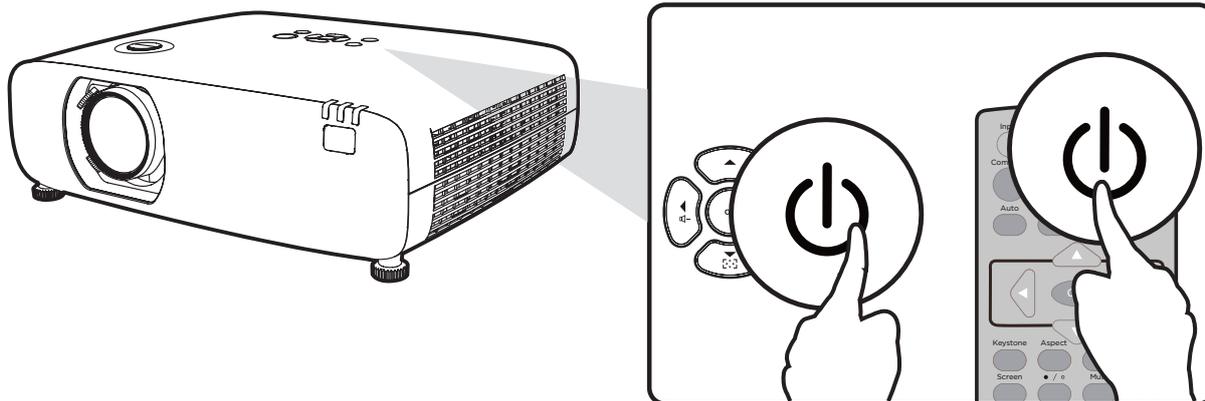
## HDBaseT接続

**注記：** HDBaseTは、LSC521WUでのみ使用できます。  
HDBaseTは、LANケーブルを介して画像信号を伝送する技術です。



# プロジェクターの使用法

## プロジェクターの電源をオンにする



1. プロジェクターの電源コードが電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

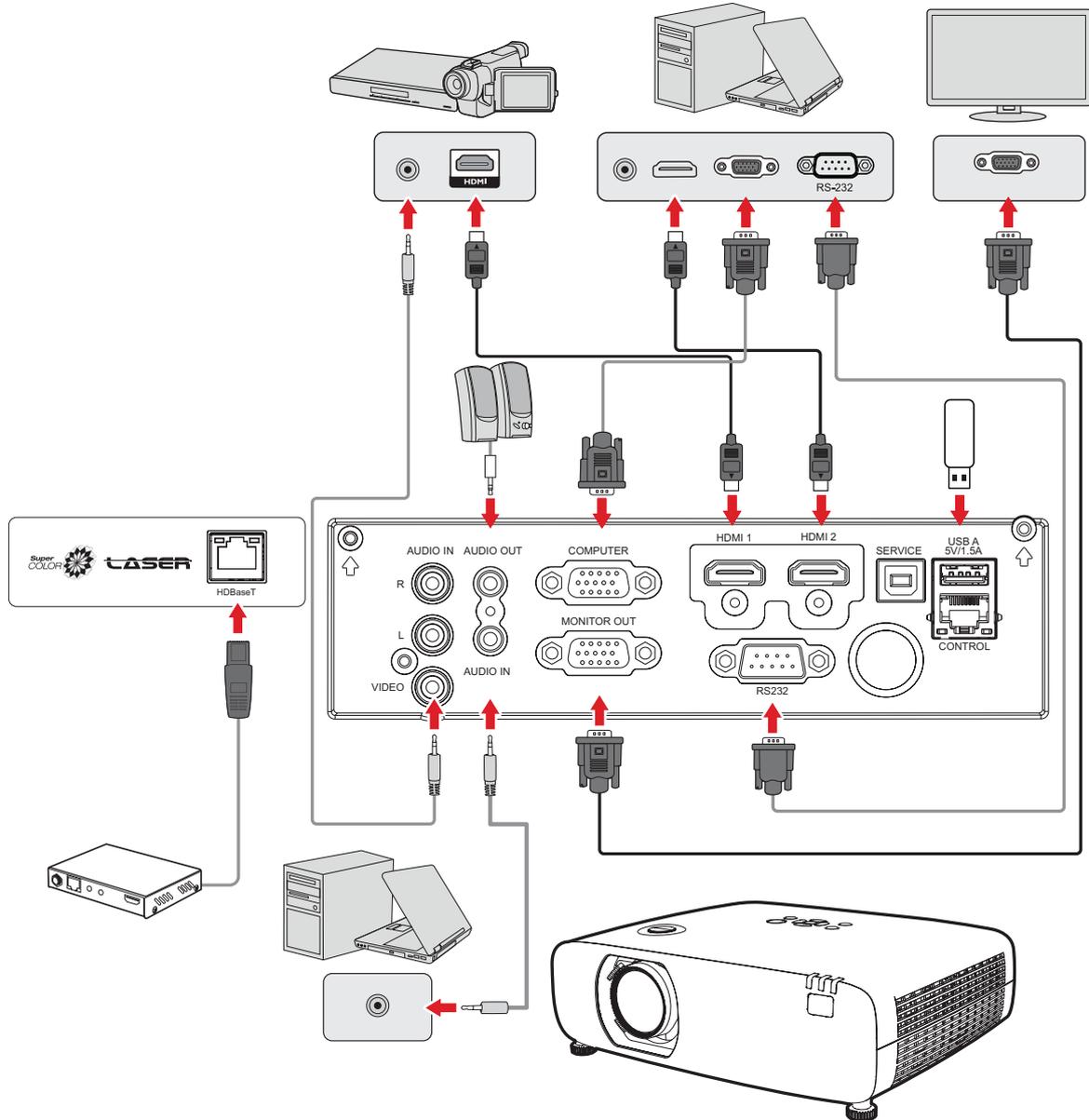
### 注記:

- 起動中は電源インジケータライトがオレンジ色に点滅します。
- プロジェクターの電源を初めてオンにすると、優先する言語と投影方向を選択するよう求められます。

# 入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。

**注記：** HDBaseTは、LSC521WUでのみ使用できます。



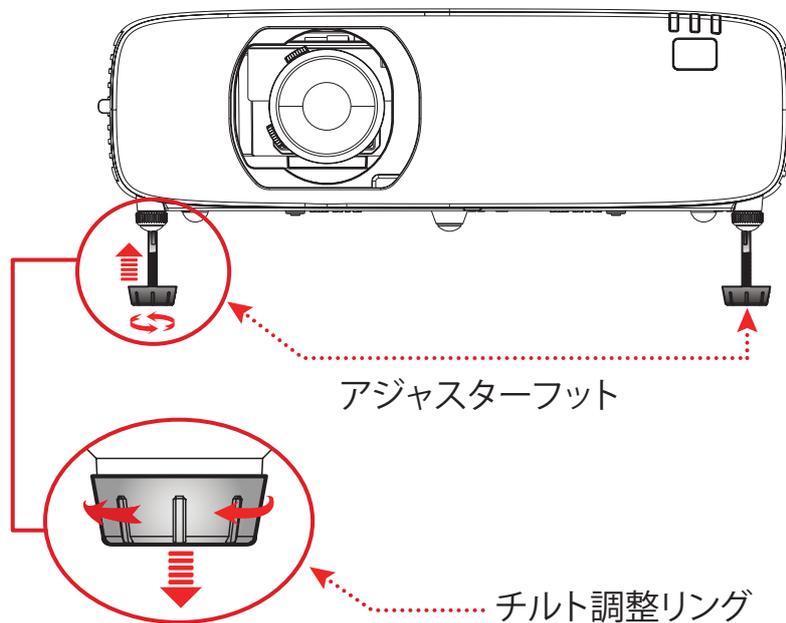
**Input Search (入力検索)** がオンの場合、プロジェクターは入力ソースを自動的に検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンの **Input (入力)** ボタンを押して、目的の入力を選択します。

**注記：** 接続されているソースもオンになっていることを確認してください。

# 投影画像を調整する

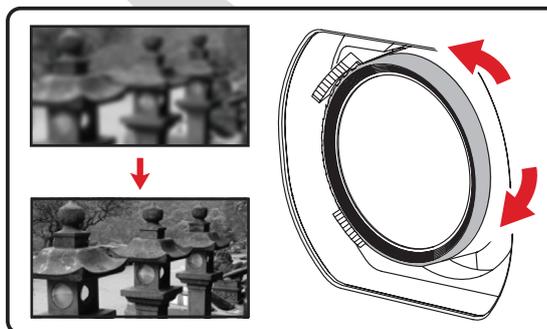
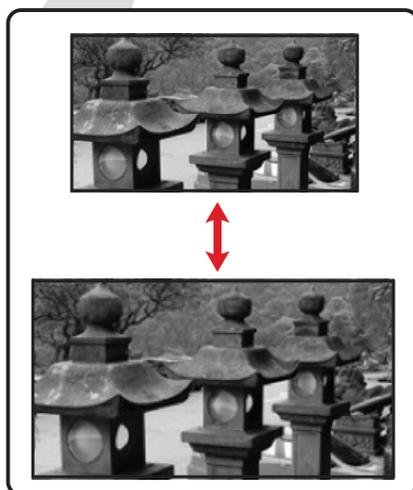
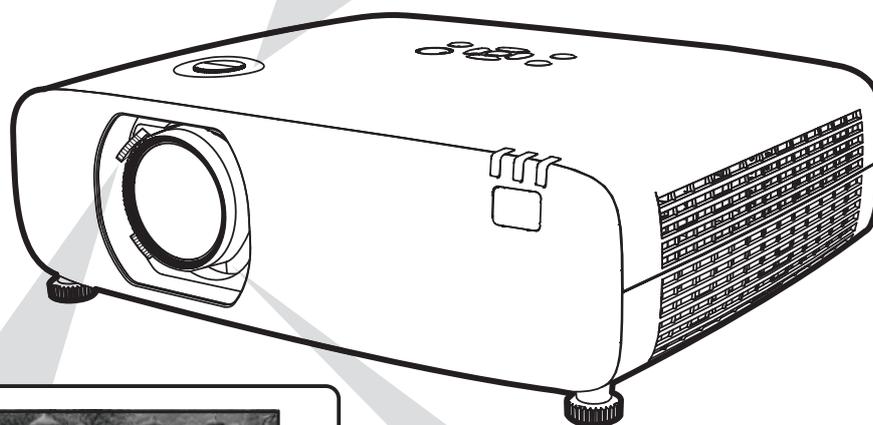
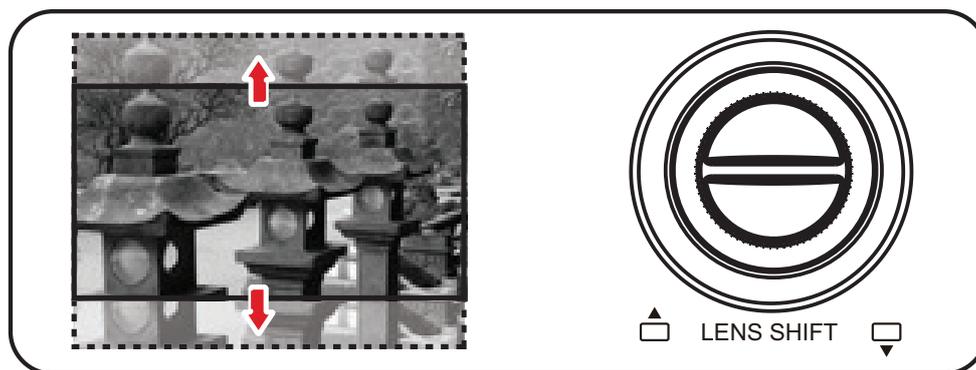
## プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには2つのアジャスターフットが装備されています。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。



## フォーカス、キーストーン、レンズシフトの調整

フォーカスリング、レンズシフトダイヤル、またはズームリングを調整することで、画像の鮮明度と位置を改善および調整できます。



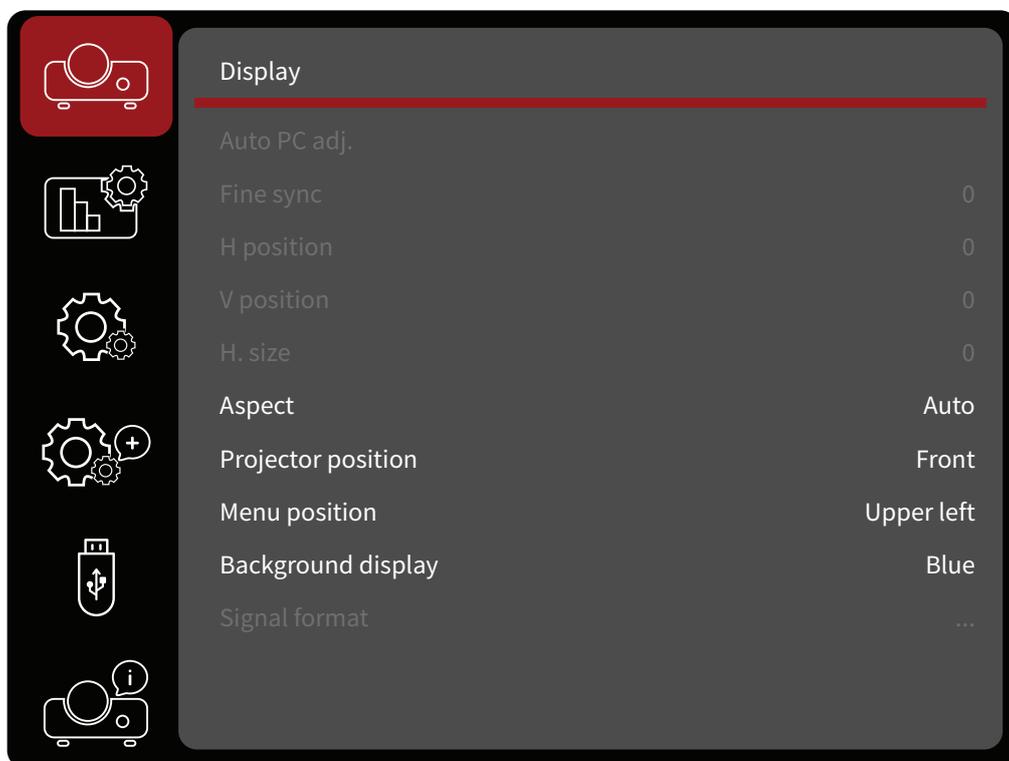
## プロジェクターの電源をオフにする

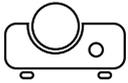
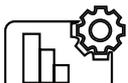
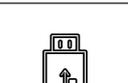
1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。
2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。
3. 電源インジケータライトがオレンジ色に点滅し、スタンバイモードになります。

# メニュー操作

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー		説明
Display (ディスプレイ)		画像の位置、アスペクト、プロジェクターとメニューの位置、背景表示、信号形式の設定を調整します。
Image Settings (画像設定)		画像モード、コントラスト、明るさ、その他の画像設定を調整します。
Settings (設定)		直接電源オン、スタンバイモード、高地モード、急速冷却、クローズドキャプション、キーロック、ボーレート、音量、HDMI設定を調整します。
Advanced (高度)		言語、自動セットアップ、キーストーン、ロゴ、セキュリティ、電源管理、フィルター、テストパターン、ネットワークセットアップの設定を調整します。
USB A		USB Type Aストレージデバイスがプロジェクターに接続されているときに、スライド、トランジション、スライドの順序などの設定を調整します。
Information (情報)		プロジェクター情報を表示します。

## メニューナビゲーション

プロジェクターには、画像と設定の調整を行うための多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの**Menu (メニュー)** ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、**Navigation (ナビゲーション)** ボタン (▲/▼) を使用してメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択を行っているときに、プロジェクターまたはリモコンの**OK** ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. **Navigation (ナビゲーション)** ボタン (▲/▼/◀/▶) を使用してサブメニューで目的の項目を選択し、**OK** を押して詳細な設定を表示します。**Navigation (ナビゲーション)** ボタン (▲/▼/◀/▶) を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次の項目を選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **OK** を押して確認すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、**Menu (メニュー)** ボタンをもう一度押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

# メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display (ディスプレイ)	Auto PC Adj. (自動PC調整)			
	Fine Sync (ファイン同期)			
	H Position (水平位置)	(-5~+5)		
	V Position (垂直位置)	(-5~+5)		
	H Size (水平サイズ)	(-15~+15)		
	Aspect (アスペクト)	Auto (自動)		
		16:9		
		16:10		
		4:3		
		21:9		
		Advanced (高度)		
	Projector Position (プロジェクターの位置)	Front (フロント)		
		Rear (リア)		
		Ceiling / Front (天井/フロント)		
		Ceiling / Rear (天井/リア)		
		Auto Ceiling / Front (自動天井/フロント)		
		Auto Ceiling / Rear (自動天井/リア)		
	Menu Position (メニュー位置)	Upper Left (左上)		
		Upper Right (右上)		
		Center (中央)		
		Lower Left (左下)		
		Lower Right (右下)		
	Background Display (背景表示)	Black (黒)		
Blue (青)				
Signal Format (信号形式)				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Image Settings (画像設定)	Image Mode (画像モード)	Standard (標準)		
		Cinema (シネマ)		
		Golf (ゴルフ)		
		Colorboard (カラーボード)		
		User (ユーザー)		
		Brightest (最も明るい)		
	Dynamic Mode (ダイナミックモード)	Off (オフ)		
		Mode 1 (モード1)		
		Mode 2 (モード2)		
		Mode 3 (モード3)		
	Contrast (コントラスト)	(0~63)		
	Brightness (輝度)	(0~63)		
	Color Temp (色温度)	High (高)		
		Mid (中)		
		Low (低)		
		User (ユーザー)		
	Color (色)	(0~63)		
	Tint (色合い)	(0~63)		
	Red (赤)	(0~63)		
	Green (緑)	(0~63)		
	Blue (青)	(0~63)		
	Sharpness (シャープネス)	(0~15)		
	Advanced Color Adj. (高度な色調整)	Hue/Saturation/Gain (色相/彩度/ゲイン)		Red (赤)
				Yellow (黄)
				Green (緑)
				Cyan (シアン)
				Blue (青)
Magenta (マゼンダ)				
Reset (リセット)				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Settings (設定)	Direct Power On (直接電源オン)	On (オン)		
		Off (オフ)		
	Standby Mode (スタンバイモード)	Normal (ノーマル)		
		ECO (エコ)		
		Network (ネットワーク)		
	High Altitude Mode (高地モード)	On (オン)		
		Off (オフ)		
		Auto (自動)		
	Cooling Fast (高速冷却)	Normal (ノーマル)		
		30 sec (30秒)		
		0 sec (0秒)		
	Closed Caption (クローズドキャプション)	Off (オフ)		
		CC1		
		CC2		
		CC3		
	Key Lock (キーロック)	On (オン)		
		Off (オフ)		
	Baud Rate (ボーレート)	19200		
		4800		
		38400		
		9600		
	Laser Control (レーザー制御)	Light Source Mode (光源モード)	Normal (ノーマル)	
			Full (フル)	
			ECO1	
			ECO2	
	Sound (音声)	Volume (音量)	(0~25)	
		Mute (ミュート)	On (オン) Off (オフ)	
	HDMI Setup (HDMIセットアップ)	Image (画像)	Auto (自動)	
			(64~940)	
			(0~1023)	
		Sound (音声)	HDMI	
			Computer (コンピューター)	
HDMI EQ Settings (HDMI EQ設定)		0/1/2/3		

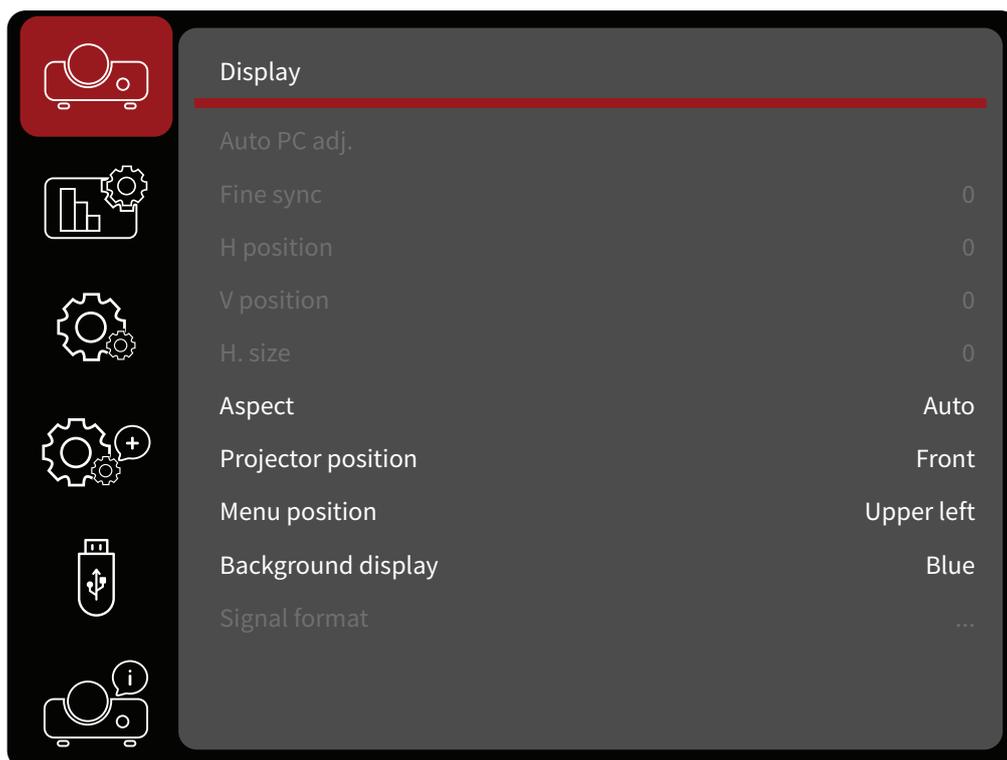
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Advanced (高度)	Language (言語)	English Deutsch Français Italiano Español Português Nederlands Svenska Suomi Norsk Dansk Polski Český Magyar Русский Türkçe Қазақ Tiếng Việt 한국어 日本語 ไทย 中文繁體 中文 Bahasa Indonesia ىسراف		
	Auto Setup (自動セットアップ)	Input Search (入力検索)	On (オン)	
			Off (オフ)	
		Auto PC Adj. (自動PC調整)	On (オン)	
			Off (オフ)	
		Auto Keystone (自動キーストーン)	On (オン)	
			Off (オフ)	
	Keystone (キーストーン)	Keystone (キーストーン)	Store (ストア)	
			Reset (リセット)	
		H/V Keystone (水平/ 垂直キーストーン)		
		4-Corner Correction (4コーナー補正)		
		6-Corner Correction (6コーナー補正)		
		Curved Correction (曲線補正)		
		Grid Image Tune (グリッド画像調整)		
		Reset Value (値のリセット)		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Advanced (高度)	Logo (ロゴ)	Logo Select (ロゴ選択)	Default (デフォルト)
			User (ユーザー)
			Off (オフ)
		Capture (キャプチャ)	
		Logo PIN Code Lock (ロゴPINコードロック)	On (オン)
			Off (オフ)
	Logo PIN Code Change (ロゴPINコード変更)		
	Security (セキュリティ)	PIN Code Lock (PINコードロック)	On (オン)
			Off (オフ)
	PIN Code Change (PINコード変更)		
	Power Management (電源管理)	Ready (準備完了)	
		Shutdown (シャットダウン)	
		Off (オフ)	
		Timer (タイマー)	(1~30分)
		Ready Countdown (準備完了カウントダウン)	(0~30分)
	Filter Counter (フィルターカウンター)	Timer (タイマー)	Off (オフ)
			500H
			1000H
			2000H
		Filter Counter Reset (フィルターカウンターのリセット)	
		Filter Status (フィルターステータス)	On (オン)
			Off (オフ)
Test Pattern (テストパターン)			
Network Setup (ネットワークのセットアップ)			
Factory Default (工場出荷時デフォルト)			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション
USB A	Set Slide (スライドの設定)	
	Slide Transition Effect (スライドトランジション効果)	
	Sort Order (並び替え順)	
	Rotate (回転)	
	Best Fit (ベストフィット)	
	Repeat (繰り返し)	
	Apply (適用)	
Information (情報)	Input (入力)	
	H-Sync Freq. (水平同期周波数)	
	V-Sync Freq. (垂直同期周波数)	
	Light Source Counter (光源カウンター)	
	MAC Address (MACアドレス)	
	S/N	
	Firmware Version (ファームウェアバージョン)	
	SUBCPU	

# メニューオプション

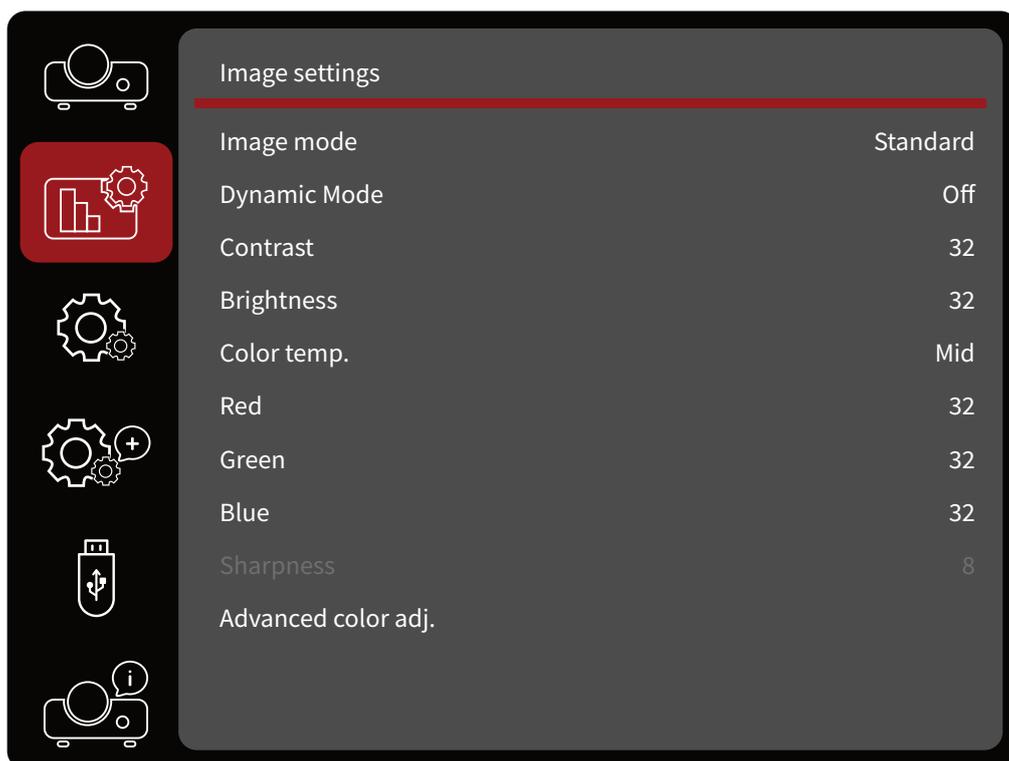
## Display (ディスプレイ)



メニュー	説明
Auto PC Adj. (自動PC調整)	投影された画像に最適な画像タイミングを自動的に調整します。 <b>注記:</b> PC入力信号のみ。
Fine Sync (ファイン同期)	投影された画像の画像タイミングを手動で調整します。 <b>注記:</b> PC入力信号のみ。
H Position (水平位置)	投影された画像の水平位置を手動で設定します。 <b>注記:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>PC入力信号のみ。</li><li>表示タイミングにより調整範囲が異なる場合があります。</li></ul>
V Position (垂直位置)	投影された画像の垂直位置を手動で設定します。 <b>注記:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>PC入力信号のみ。</li><li>表示タイミングにより調整範囲が異なる場合があります。</li></ul>
H Size (水平サイズ)	投影された画像の水平幅を手動で設定します。 <b>注記:</b> PC入力信号のみ。

メニュー	説明
Aspect (アスペクト)	<p><u>Auto (自動)</u>            プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変更せずに画面を最大限に活用したい場合に適しています。</p> <p><u>16:9</u>            16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、アスペクト比を変更せずに画像を表示するため、高解像度テレビなど、既に16:9のアスペクト比になっている画像に最適です。</p> <p><u>16:10</u>            16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、アスペクト比を変更せずに表示するため、既にアスペクト比が16:10の画像に最適です。</p> <p><u>4:3</u>            4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピューターのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。</p> <p><u>21:9</u>            MTRアプリケーション用に画像を拡大縮小します。</p> <p><u>Advanced (高度)</u>            画面分割の高度なアスペクト比設定。</p>
Projector Position (プロジェクターの位置)	プロジェクターの投影位置を選択します。
Menu Position (メニュー位置)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの画面上の位置を設定します。
Background Display (背景表示)	背景色を設定します。
Signal Format (信号形式)	Set the projection area's display color.

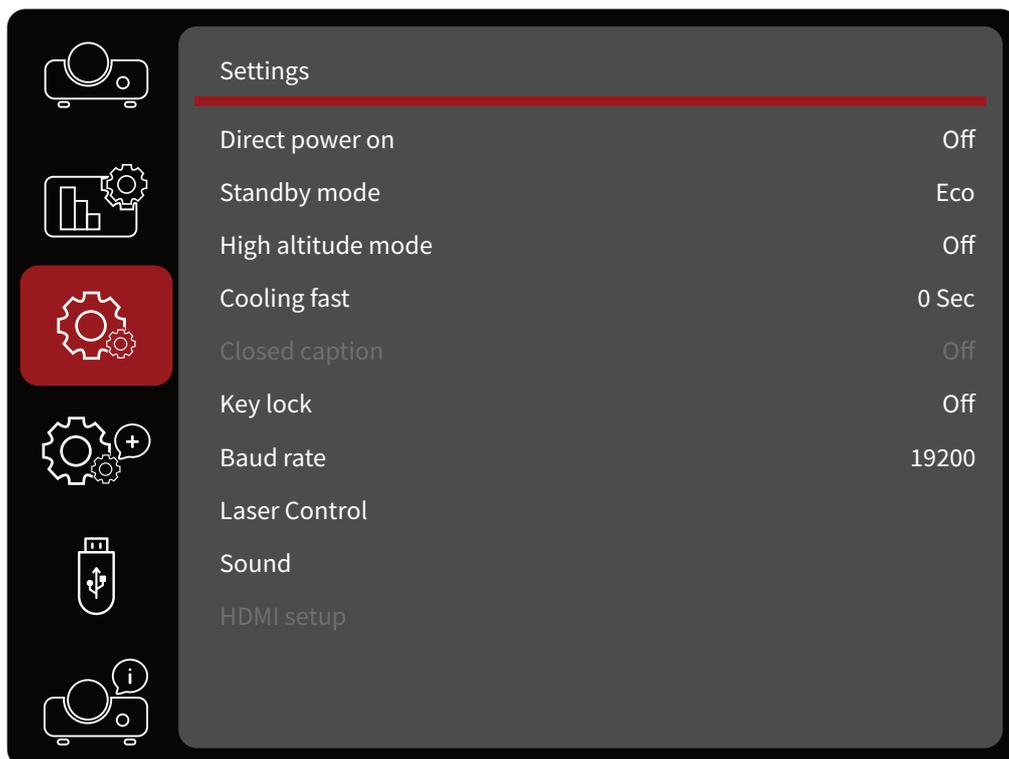
## Image Settings (画像設定)



メニュー	説明														
<b>Image Mode (画像モード)</b>	<p>視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e91e63; color: white;">モード</th> <th style="background-color: #e91e63; color: white;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><b>Standard (標準)</b></td> <td>日中の環境での通常の状態向けに設計されています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>Cinema (シネマ)</b></td> <td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>Golf(ゴルフ)</b></td> <td>ゴルフシミュレーターに適しています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>Colorboard (カラーボード)</b></td> <td>壁の色が異なる環境向けに設計されています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>User (ユーザー)</b></td> <td>ユーザー固有のカスタム画像設定。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>Brightest (最も明るい)</b></td> <td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	説明	<b>Standard (標準)</b>	日中の環境での通常の状態向けに設計されています。	<b>Cinema (シネマ)</b>	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	<b>Golf(ゴルフ)</b>	ゴルフシミュレーターに適しています。	<b>Colorboard (カラーボード)</b>	壁の色が異なる環境向けに設計されています。	<b>User (ユーザー)</b>	ユーザー固有のカスタム画像設定。	<b>Brightest (最も明るい)</b>	明るく十分な照明のある環境に適しています。
モード	説明														
<b>Standard (標準)</b>	日中の環境での通常の状態向けに設計されています。														
<b>Cinema (シネマ)</b>	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。														
<b>Golf(ゴルフ)</b>	ゴルフシミュレーターに適しています。														
<b>Colorboard (カラーボード)</b>	壁の色が異なる環境向けに設計されています。														
<b>User (ユーザー)</b>	ユーザー固有のカスタム画像設定。														
<b>Brightest (最も明るい)</b>	明るく十分な照明のある環境に適しています。														
<b>Dynamic Mode (ダイナミックモード)</b>	<p><u>Off (オフ)</u> ダイナミックコントラストを無効にします。</p> <p><u>Mode 1/2/3 (モード1/2/3)</u> 光源のレベルを調整します。</p>														
<b>Contrast (コントラスト)</b>	<p>選択した入力と視聴環境に合うように、<b>Brightness (輝度)</b> 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p>														

メニュー	説明
Brightness (輝度)	値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。
Color Temp (色温度)	<u>High/Mid/Low (高/中/低)</u> 暖色、標準、寒色から色温度を選択します。 <u>User (ユーザー)</u> カスタム色温度を設定します
Red (赤)	赤のコントラストレベルを調整します。
Green (緑)	緑のコントラストレベルを調整します。
Blue (青)	青のコントラストレベルを調整します。
Sharpness (シャープネス)	値が高いほど画像が鮮明になり、値が低いほど画像が柔らかくなります。
Advanced Color Adj. (高度な色調整)	会議室や講堂など、照明レベルが制御されている常設の設備でのみ、高度な色調整を検討する必要があります。高度な色調整により、細かい色制御調整が可能になり、より正確な色再現が可能になります。まず原色を選択し、色相、彩度、ゲインの範囲/値を調整します。

## Settings (設定)

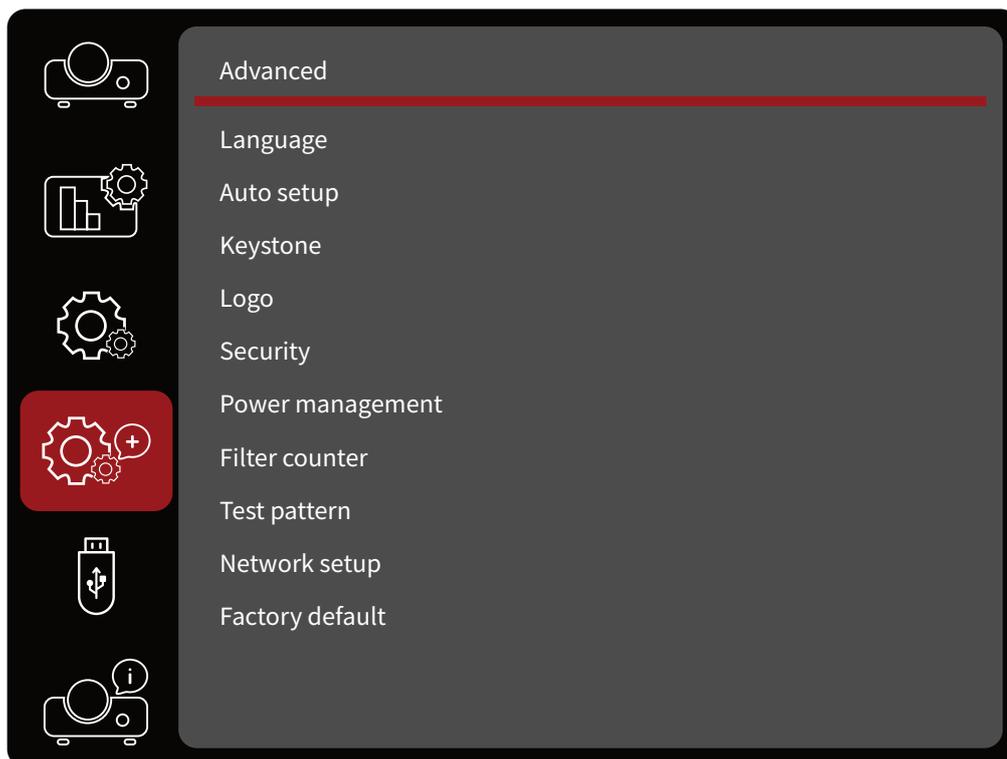


メニュー	説明
<b>Direct Power On (直接電源オン)</b>	プロジェクターは電源に接続すると自動的にオンになります。
<b>Standby Mode (スタンバイモード)</b>	<p><u>Normal (ノーマル)</u> ノーマルスタンバイ &gt; 0.5W。ネットワーク設定機能が利用可能です。</p> <p><u>Eco (エコ)</u> エコスタンバイ &lt; 0.5W。ネットワーク設定機能は利用不可です。</p> <p><u>Network (ネットワーク)</u> ネットワークスタンバイ。Wake on LAN (WOL) のみ使用可能。</p>
<b>High Altitude Mode (高地モード)</b>	電源を入れるとファンの回転が速くなり、冷却効果とパフォーマンスが向上します。これは、空気が薄い高地環境に役立ちます。 <b>Auto (自動)</b> に設定すると、プロジェクターは自動的に高地モードを有効にします。
<b>Cooling Fast (高速冷却)</b>	冷却時間を短縮するには、冷却ファンの速度を選択します。
<b>Closed Caption (クローズドキャプション)<sup>1</sup></b>	選択した入力信号にクローズドキャプションが含まれている場合にクローズドキャプションを有効にします。
<b>Key Lock (キーロック)</b>	コントロールパネルをロックおよびロック解除します。

1- ビデオ入力でのみ使用可能です。

メニュー	説明																		
Baud Rate (ボーレート)	適切なRS-232ケーブルを使用してプロジェクターを接続し、RS-232コマンドでプロジェクターを制御できるように、コンピューターと同じボーレートを設定します。																		
Laser Control (レーザー制御)	<p>プロジェクターの動作環境に応じて光源の明るさを変更します。</p> <p><u>Normal (ノーマル)</u> 輝度レベルは50%～100%に調整可能です。</p> <p><u>Full (フル)</u> 調整不可能な輝度レベル、100%。</p> <p><u>ECO1</u> 60%の輝度レベル。</p> <p><u>ECO2</u> 50%の輝度レベル。</p>																		
Sound (音声)	<p><u>Volume (音量)</u> 音量を上げたり下げたりします。</p> <p><u>Mute (ミュート)</u> 音声をオフまたはオンにします。</p>																		
HDMI Setup (HDMIセットアップ)	<p><u>Image (画像)</u></p> <table border="1" data-bbox="600 1144 1418 1406"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Auto (自動)</td> <td>自動的に標準信号に設定されます。</td> </tr> <tr> <td>64～940</td> <td>画像が正常になるまで信号を手動で調整します。</td> </tr> <tr> <td>0～1023</td> <td>画像が正常になるまで信号を手動で調整します。</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>Sound (音声)</u></p> <table border="1" data-bbox="600 1491 1418 1744"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDMI</td> <td>HDMIポートに接続されたデバイスから音声を出力します。</td> </tr> <tr> <td>Computer (コンピューター)</td> <td>コンピューターポートに接続されたデバイスから音声を出力します。</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>HDMI EQ Settings (HDMI EQ設定)</u></p> <table border="1" data-bbox="600 1830 1418 2078"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0/1/2/3</td> <td>HDMIポートに接続されているデバイスに応じて、HDMI入力信号レベルを調整します。映像にノイズが多くなったり、映像が映らないなどの不具合が生じた場合は、設定を変更する必要があります。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	説明	Auto (自動)	自動的に標準信号に設定されます。	64～940	画像が正常になるまで信号を手動で調整します。	0～1023	画像が正常になるまで信号を手動で調整します。	モード	説明	HDMI	HDMIポートに接続されたデバイスから音声を出力します。	Computer (コンピューター)	コンピューターポートに接続されたデバイスから音声を出力します。	モード	説明	0/1/2/3	HDMIポートに接続されているデバイスに応じて、HDMI入力信号レベルを調整します。映像にノイズが多くなったり、映像が映らないなどの不具合が生じた場合は、設定を変更する必要があります。
モード	説明																		
Auto (自動)	自動的に標準信号に設定されます。																		
64～940	画像が正常になるまで信号を手動で調整します。																		
0～1023	画像が正常になるまで信号を手動で調整します。																		
モード	説明																		
HDMI	HDMIポートに接続されたデバイスから音声を出力します。																		
Computer (コンピューター)	コンピューターポートに接続されたデバイスから音声を出力します。																		
モード	説明																		
0/1/2/3	HDMIポートに接続されているデバイスに応じて、HDMI入力信号レベルを調整します。映像にノイズが多くなったり、映像が映らないなどの不具合が生じた場合は、設定を変更する必要があります。																		

## Advanced (高度)



メニュー	説明
Language (言語)	<p>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。</p>
<p><b>Auto Setup</b> (自動セットアップ)</p>	<p><u>Input Search (入力検索)</u> 利用可能な入力ソースを自動的に検出して投影します。</p> <p><u>Auto PC Adj. (自動PC調整)</u> 自動PC調整がオンの場合、プロジェクターはアナログ信号を入力します。リモコンの<b>Auto (自動)</b> ボタンを押すと、ファイン同期、水平位置、垂直位置、水平サイズが自動的に調整されます。自動PC調整がオフになっている場合、リモコンの<b>Auto (自動)</b> ボタンはサポートされません。</p> <p><u>Auto Keystone (自動キーストーン)</u> 歪んだ投影画像を自動的に修正します。</p>

メニュー	説明
<p><b>Keystone (キーストーン)</b></p>	<p><u>Keystone (キーストーン)</u> 電源コードを抜いた後、キーストーン補正を保存またはリセットします。</p> <p><u>H/V Keystone (水平/垂直キーストーン)</u> 投影された画像を水平または垂直に修正します。</p> <p><u>4-Corner Correction (4コーナー補正)</u> 投影された画像の四隅を修正します。</p> <p><u>6-Corner Correction (6コーナー補正)</u> 投影された画像の六隅を修正します。</p> <p><u>Curved Correction (曲線補正)</u> 曲面により凹凸や変形した投影画像を補正します。</p> <p><u>Grid Image Tune (グリッド画像調整)</u> 投影された画像のローカルポイントを調整します。</p> <p><u>Reset (リセット)</u> 設定をデフォルト値に戻します。</p>
<p><b>Logo (ロゴ)</b></p>	<p><u>Logo Select (ロゴ選択)</u> プロジェクターの電源を入れたときの起動ロゴを設定します。</p> <p><u>Capture (キャプチャ)</u> 投影されている画像をキャプチャし、スタートアップのロゴとして使用します。</p> <p><u>Logo PIN Code Lock (ロゴPINコードロック)</u> 権限のない人物によるロゴ画面の変更を防止します。</p> <p><u>Logo PIN Code Change (ロゴPINコード変更)</u> PINコードを任意の3桁の数字に変更します。</p>
<p><b>Security (セキュリティ)</b></p>	<p><u>PIN Code Lock (PINコードロック)</u> 権限のない人がプロジェクターを操作できないようにします。</p> <p><u>PIN Code Change (PINコード変更)</u> PINコードを任意の3桁の数字に変更します。</p>

メニュー	説明
<b>Power Management (電源管理)</b>	<p><u>Ready (準備完了)</u></p> <p>信号入力がない状態が30秒続くとカウントダウンが表示されます。</p> <p>入力ソースが検出されない場合、設定された時間が経過するとプロジェクターが自動的に準備完了モードを有効にします。</p> <p>入力信号が再接続されるか、リモコンまたはコントロールパネルの任意のキー（電源ボタンを除く）が押されると、光源が再びオンになります。</p> <p><u>Shutdown (シャットダウン)</u></p> <p>信号入力がない状態が30秒続くとカウントダウンが表示されます。</p> <p>入力ソースが検出されない場合、一定時間後にプロジェクターを自動的にシャットダウンして、光源寿命の無駄を防ぎます。</p> <p><u>Off (オフ)</u></p> <p>電源管理機能を無効にします。</p> <p><u>Timer (タイマー)</u></p> <p>入力ソースが検出されなくなった後の時間を設定し、プロジェクターが自動的に準備完了モードになるようにします。</p> <p><u>Ready Countdown (準備完了カウントダウン)</u></p> <p>電源管理が準備完了に設定されている場合、準備完了モードからスタンバイモードへの移行時間は0～30分です。</p> <p>0に設定すると、プロジェクターは自動的に切り替えることができません。準備完了モードで、<b>Power (電源)</b> ボタンを押してプロジェクターを準備完了モードからスタンバイモードに切り替え、他のキーを押してプロジェクターの電源をオンにします。</p>

メニュー	説明
<p><b>Filter Counter</b> (フィルターカウンター)</p>	<p>フィルターはプロジェクター内にほこりが入り込むのを防ぎ、内部部品に蓄積されるのを防ぎます。フィルターが詰まると冷却ファンの効率が低下し、プロジェクターが過熱して寿命が短くなる可能性があります。Filter Warning (フィルター警告) アイコンが表示された場合は、すぐにフィルターを清掃してください。</p> <p>フィルターを清掃する場合は、次の手順に従ってください：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクターの電源をオフにし、電源プラグを抜きます。</li> <li>2. フィルターを外します。</li> <li>3. ブラシで丁寧に掃除します。</li> <li>4. フィルターが完全に差し込まれていることを確認して交換します。</li> </ol> <p><u>Filter Counter (フィルターカウンター)</u> フィルターの使用時間を表示します。</p> <p><u>Timer (タイマー)</u> フィルターの清掃時間を表示します。</p> <p><u>Filter Counter Reset (フィルターカウンターのリセット)</u> フィルターカウンターをリセットします。</p> <p><u>Filter Status (フィルターステータス)</u> プロジェクターのフィルター時間を確認してください。</p>
<p><b>Test Pattern</b> (テストパターン)</p>	<p>プロジェクターの内蔵テストパターンを表示します。</p> <p><b>注記:</b> USB Aディスプレイ、USB Bディスプレイ、LANディスプレイでは使用できません。</p>
<p><b>Network Setup</b> (ネットワークのセットアップ)</p>	<p>IPアドレス、LAN、DHCP設定を設定します。</p> <p><b>注記:</b> プロジェクターはワイヤレスディスプレイをサポートしていません。ユーザーは、RTL8192EUドライバーが組み込まれたWi-Fiドングルを購入できます。</p>
<p><b>Factory Default</b> (工場出荷時デフォルト)</p>	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p><b>注記:</b> Reset Settings(設定のリセット)を使用すると、次の設定はそのまま残ります。言語、プロジェクター投影、ポアレート、高度、光源時間。</p>

## ネットワークを介してプロジェクターを制御する

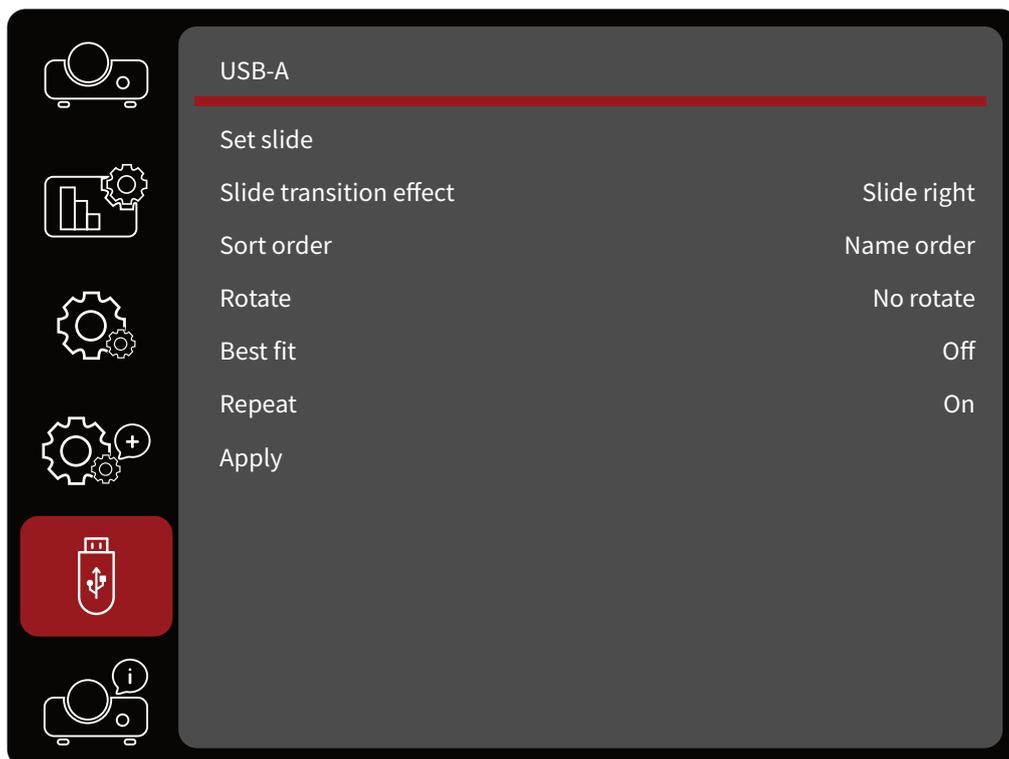
プロジェクターは、多様なネットワーク管理機能とリモート管理機能を提供します。プロジェクターのLAN/RJ45機能を使用すると、ネットワークを介して、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度などをリモートで管理できます。

1. LAN/RJ45ポートを介してプロジェクターをネットワークに接続します。
2. オンスクリーンディスプレイメニューを開いて、**[Advanced (高度)]** > **[Network Setup (ネットワークのセットアップ)]**に移動します。
3. **[DHCP]**を選択し、それを**オン**にして、IPアドレスを自動的に取得します。または、**[Off (オフ)]**を選択してネットワーク情報を手動で入力します。

**注記：** 約15～20秒待つてから、**Network Setup (ネットワークのセットアップ)** 設定ページに再度アクセスしてください。プロジェクターIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定が表示されます。プロジェクターIPアドレス行に表示されているIPアドレスに注意してください。

4. Webブラウザを使用し、同じネットワークの下で、プロジェクターのIPアドレスを入力します。
5. ユーザー名とパスワードを入力し、**[Log in (ログイン)]**をクリックします。

## USB A



メニュー	説明
<b>Set Slide</b> (スライドの設定)	スライドを表示します。
<b>Slide Transition Effect</b> (スライドトランジション効果)	スライド再生トランジション効果を制御します。
<b>Sort Order (並び替え順)</b>	スライドの順序を設定します。
<b>Rotate (回転)</b>	画像の回転方向を設定します。
<b>Best Fit (ベストフィット)</b>	投影スクリーンに合わせて画像を設定します。
<b>Repeat (繰り返し)</b>	電源を入れるとスライドを繰り返し再生します。
<b>Apply (適用)</b>	スライド設定を有効にします。

## サポートされるファイル形式

### ビデオ

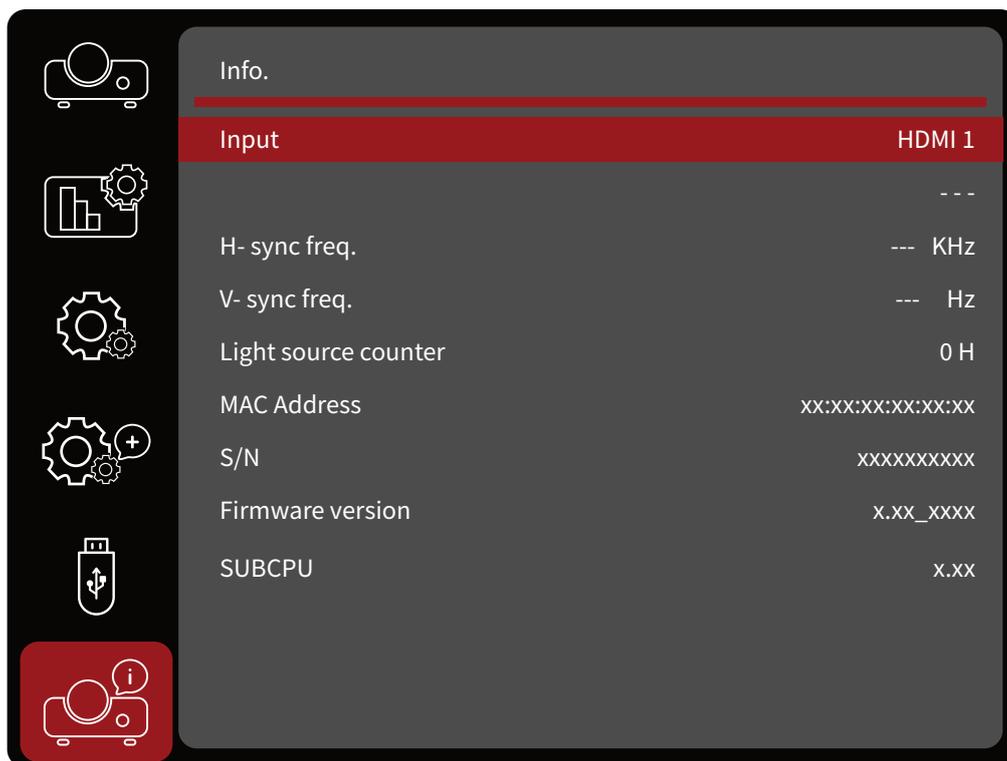
拡張子	ビデオコーデック	オーディオコーデック	ビデオ形式
.avi	MotionJPEG	ADPCM	1280 x 70、30 FPS (最大)

### 画像

拡張子	形式	説明
jpg/jpeg	ベースラインエンコーダー24 プログレッシブRGB24 ビット	最大解像度:10000 x 10000
		最大解像度:パネル解像度
bmp	1、4、8ビットパレットベ ースRGB24、32ビット	最大解像度:1280 x 800
png	24、48ビットTrue Color	- 24ビットカラーパレットスペース
		最大解像度:1024 x 768
gif	1、4、8ビットパレットベ ース	最大解像度:800 x 600
tiff		最大解像度:800 x 600

## Information (情報)

入力ソース、水平同期周波数、垂直同期周波数、光源カウンター、MACアドレス、シリアル番号、ファームウェアバージョン、SUBCPU情報を表示します。



# 付録

## 仕様

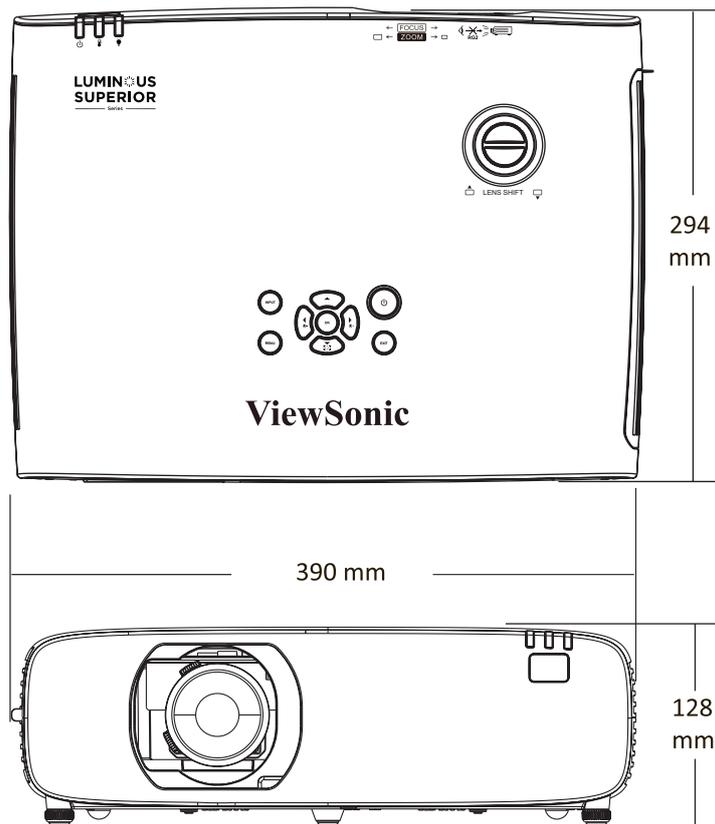
項目	区分	仕様	
		LSC520WU	LSC521WU
プロジェクター	タイプ	レーザー	
	画面サイズ	30インチ～300インチ	
	スローレシオ	1.08～1.76	1.2～2.01
	レンズ	1.6x	
	ディスプレイシステム	3LCD	
入力信号	HDMI	f <sub>h</sub> : 15K～100 kHz、f <sub>v</sub> : 24K～85 Hz、ピクセルレート: 160 MHz	
	VGA	f <sub>h</sub> : 15K～100 kHz、f <sub>v</sub> : 24K～85 Hz、ピクセルレート: 300 MHz	
解像度	標準	1920 x 1200	
電源	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)	
動作環境	高度	1,700～3,000 m (0°C～40°C) <sup>1</sup>	
		5,577.43～9,842.52フィート (32°F～104°F) <sup>1</sup>	
	相対湿度	20%～80% (非結露)	
温度	0°C～40°C		
	32°F～104°F		
保管環境	相対湿度	10%～85% (非結露)	
	温度	-10°C～50°C	
-14°F～122°F			
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	390 x 294 x 128 mm	
		15.35 x 11.57 x 5.04インチ	
重量	寸法	5.2 kg	
		11.46 lb	
節約モード	オン <sup>2</sup>	236W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

1- 高地モードが有効な場合。

2- テスト条件はEEL標準に従います。

# プロジェクターの寸法

390 mm (幅) x 294 mm (高さ) x 128 mm (奥行)



# タイミングチャート

## PC信号

解像度	リフレッシュレート
720 x 480i	60 Hz
720 x 576i	50 Hz
720 x 480p	60 Hz
720 x 576p	50 Hz
1280 x 720p	50、60 Hz
1920 x 1080i	50、60 Hz
1920 x 1080p	24、50、60 Hz
640 x 480	60、67、72、75、85 Hz
800 x 600	56、60、72、75、85 Hz
832 x 624	75 Hz
1024 x 768	67、70、75、85 Hz
1152 x 864	70、75 Hz
1280 x 720	60 Hz
1280 x 768	60、75、85 Hz
1280 x 800	60、75、85 Hz
1280 x 960	60 Hz
1280 x 1024	67、72、75、85 Hz
1366 x 768	60 Hz
1400 x 1050	60、75 Hz
1440 x 900	60 Hz
1600 x 900	60 Hz
1680 x 1050	60 Hz
1920 x 1080	60 Hz
1920 x 1200	60 Hz

## HDMI信号

### HDMIビデオ

解像度	リフレッシュレート
720 x 480p	60 Hz
720 x 480i	60 Hz
720 x 576p	50 Hz
720 x 576i	60 Hz
1280 x 720p	50、60 Hz
1920 x 1080i	50、60 Hz
1920 x 1080p	24、50、60 Hz

### HDMI PC

解像度	リフレッシュレート
640 x 480	60、67、72、75、85 Hz
800 x 600	56、60、72、75、85 Hz
832 x 624	75 Hz
1024 x 768	67、70、75、85 Hz
1152 x 864	70、75 Hz
1280 x 720	60 Hz
1280 x 768	60、75、85 Hz
1280 x 800	60、75、85 Hz
1280 x 960	60 Hz
1280 x 1024	67、72、75、85 Hz
1366 x 768	60 Hz
1400 x 1050	60、75 Hz
1440 x 900	60 Hz
1600 x 900	60 Hz
1680 x 1050	60 Hz
1920 x 1080	60 Hz
1920 x 1200	60 Hz
3840 x 2160	30 Hz

## トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。</li><li>上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。</li><li>入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。</li></ul>
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスリングを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクタレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。</li><li>プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。</li></ul>
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none"><li>OSDメニューを開き、<b>[Setup (セットアップ)]</b> &gt; <b>[Projection (投影)]</b>に移動し、投影オプションを調整してください。</li></ul>

問題	解決策
16:9のDVDを投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アナモルフィックDVDまたは16:9のDVDを再生すると、プロジェクターは16:9で最高の画像を表示します。</li> <li>• 4:3形式のDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターOSDメニューの形式トを4:3に変更してください。</li> <li>• DVDプレーヤーのディスプレイ形式を16:9(ワイド)アスペクト比としてセットアップしてください。</li> </ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが8 m(26フィート)の範囲内にあることを確認してください。</li> <li>• 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。</li> </ul>
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも20秒待ってから、再接続して再試行してください。</li> </ul>

## LEDインジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30秒間待って、もう一度やり直してください。警告インジケータが点灯または点滅する場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源 インジケータ ライト	ステータス インジケータ ライト	光源インジケ ータライト
ノーマルスタンバイ (0.5W以上)	オレンジ色の点灯	オフ	オフ
ネットワーク/エコスタン バイ (0.5W以下)	オレンジ色の点滅	オフ	オフ
電源オン (ウォーミング中)	オレンジ色の点滅	オフ	オフ
電源オフ (冷却中)	赤色の点滅	オフ	オフ
光源モードエラー	赤色の点灯	赤色の点灯	赤色の点灯
ファンエラー	赤色の点灯	オレンジ色の点滅	オフ
温度エラー	赤色の点灯	赤色の点滅	オフ
フィルターエラー	緑色の点灯	赤色の点滅	オフ

# メンテナンス

## お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic®または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

## レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

**注意：** レンズを研磨剤でこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

**注意：** ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

## プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

## 免責事項

- ViewSonic®は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

## フィルターの清掃

フィルターを清掃する場合は、次の手順に従ってください：

1. プロジェクターの電源をオフにし、電源プラグを抜きます。
2. フィルターを外します。
3. ブラシで丁寧に掃除します。
4. フィルターが完全に差し込まれていることを確認して交換します。

**注意：** フィルターを取り外した後はプロジェクターを操作しないでください。そうしないと、レンズアセンブリにほこりが付着し、画質が低下します。

# 規制および補修情報

## コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

### FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

**警告：**コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

### Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CAN ICES (B) / NMB (B)

## 欧州諸国のCE適合

**CE** 本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令2009/125/EC。

### 次の情報は、EU加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU（WEEE）に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収し、回収システムを使用する必要があることを示しています。



## RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 <sup>+</sup> )	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯 (CCFLおよびEEFL) の水銀 (ランプあたり)：
  - » 短いランプ (500mm) : ランプあたり最大3.5 mg。
  - » 中程度のランプ (500 mm~1,500 mm) : ランプあたり最大5 mg。
  - » 長いランプ (1,500 mm以上) : ランプあたり最大13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量0.2 %を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量0.4 %までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量4 %まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量85 %以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。

## インドの有害物質に関する制限

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表2に記載する例外を除き、重量の0.1%を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の0.01%を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

## 廃棄処分について

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

## 米国およびカナダ：

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

## 欧州：

<https://www.viewsonic.com/eu/environmental-social-governance/recycle>

## 台湾：

<https://recycle.moenv.gov.tw/>

**ユーザーの方は、本製品で安全性 / 事故問題に関する問題が発生した場合は、弊社にお問い合わせください：**

ViewSonic Europe Limited



Haaksbergweg 75  
1101 BR Amsterdam  
Netherlands



+31 (0) 650608655



[EPREL@viewsoniceurope.com](mailto:EPREL@viewsoniceurope.com)



<https://www.viewsonic.com/eu/>

## 著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation, 2024. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic®、3羽の鳥のロゴはViewSonic® Corporationの登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。  
DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

**免責条項：**ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

## カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、下記の表に記載されるお問合せ先をご確認いただくか、販売店にお問合せください。

**注:** 製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

国/地域	ホームページ	国/地域	ホームページ
<b>アジア太平洋地域およびアフリカ</b>			
オーストラリア	<a href="http://www.viewsonic.com/au/">www.viewsonic.com/au/</a>	バングラデシュ	<a href="http://www.viewsonic.com/bd/">www.viewsonic.com/bd/</a>
中国 (China)	<a href="http://www.viewsonic.com.cn">www.viewsonic.com.cn</a>	香港 (繁體中文)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk/">www.viewsonic.com/hk/</a>
香港 (英語)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk-en/">www.viewsonic.com/hk-en/</a>	インド	<a href="http://www.viewsonic.com/in/">www.viewsonic.com/in/</a>
インドネシア	<a href="http://www.viewsonic.com/id/">www.viewsonic.com/id/</a>	イスラエル	<a href="http://www.viewsonic.com/il/">www.viewsonic.com/il/</a>
日本 (Japan)	<a href="http://www.viewsonic.com/jp/">www.viewsonic.com/jp/</a>	韓国	<a href="http://www.viewsonic.com/kr/">www.viewsonic.com/kr/</a>
マレーシア	<a href="http://www.viewsonic.com/my/">www.viewsonic.com/my/</a>	中東	<a href="http://www.viewsonic.com/me/">www.viewsonic.com/me/</a>
ミャンマー	<a href="http://www.viewsonic.com/mm/">www.viewsonic.com/mm/</a>	ネパール	<a href="http://www.viewsonic.com/np/">www.viewsonic.com/np/</a>
ニュージーランド	<a href="http://www.viewsonic.com/nz/">www.viewsonic.com/nz/</a>	パキスタン	<a href="http://www.viewsonic.com/pk/">www.viewsonic.com/pk/</a>
フィリピン	<a href="http://www.viewsonic.com/ph/">www.viewsonic.com/ph/</a>	シンガポール	<a href="http://www.viewsonic.com/sg/">www.viewsonic.com/sg/</a>
臺灣 (Taiwan)	<a href="http://www.viewsonic.com/tw/">www.viewsonic.com/tw/</a>	ประเทศไทย	<a href="http://www.viewsonic.com/th/">www.viewsonic.com/th/</a>
Việt Nam	<a href="http://www.viewsonic.com/vn/">www.viewsonic.com/vn/</a>	南アフリカおよびモーリシャス	<a href="http://www.viewsonic.com/za/">www.viewsonic.com/za/</a>
<b>アメリカ</b>			
合衆国	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>	カナダ	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>
ラテンアメリカ	<a href="http://www.viewsonic.com/la">www.viewsonic.com/la</a>		
<b>ヨーロッパ</b>			
ヨーロッパ	<a href="http://www.viewsonic.com/eu/">www.viewsonic.com/eu/</a>	フランス	<a href="http://www.viewsonic.com/fr/">www.viewsonic.com/fr/</a>
Deutschland	<a href="http://www.viewsonic.com/de/">www.viewsonic.com/de/</a>	Қазақстан	<a href="http://www.viewsonic.com/kz/">www.viewsonic.com/kz/</a>
Россия	<a href="http://www.viewsonic.com/ru/">www.viewsonic.com/ru/</a>	España	<a href="http://www.viewsonic.com/es/">www.viewsonic.com/es/</a>
Türkiye	<a href="http://www.viewsonic.com/tr/">www.viewsonic.com/tr/</a>	Україна	<a href="http://www.viewsonic.com/ua/">www.viewsonic.com/ua/</a>
英国	<a href="http://www.viewsonic.com/uk/">www.viewsonic.com/uk/</a>		

## 限定保証

ViewSonic® プロジェクター

### 保証範囲：

ViewSonic は保証期間内において、通常の使用の下で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、ViewSonic の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。

### 3年間の一般保証

以下に、1年保証が設定されているものを示します。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは3年間、生産に関する故障は3年間、最初のランプで最初の購入日から1年間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

### 重用における1年保証：

本機を日常的に1日平均14時間以上重用する場合。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。ヨーロッパ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

ランプの保証は、諸条件、検証および承認の対象となります。メーカーが取り付けたランプに限ります。別途購入された全アクセサリランプの保証期間は90日間です。

### 保証対象者：

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

## 保証対象外：

1. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。
2. 破損、劣化、故障の原因：
  - a. 事故、乱用、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、不適切なメンテナンス、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
  - b. 製品仕様外の操作。
  - c. 常識外での製品使用や異常な状態での使用。
  - d. ViewSonic が認めない人物による補修または補修の試み。
  - e. 出荷時の不具合。
  - f. 製品の撤去または設置。
  - g. 電力サージや停電などの外部からの原因。
  - h. ViewSonic の仕様に合わない部品の使用。
  - i. 通常の摩耗、消耗。
  - j. 製品の欠陥に関係しない原因。
3. 撤去、設置、設置サービス費。

## 補修を受けるには：

1. 保証範囲内において補修サービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサービスにお問合せください (カスタマーサービス ページをご覧ください)。製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 購入日、(b) お客様のお名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号が必要です。
3. 製品を元の梱包材料に入れて、元払いで ViewSonic サービスセンターまでお送りください。
4. 詳しい情報や、お近くの ViewSonic サービスセンターの名称については、ViewSonic 社までお問合せください。

## 黙示的保証の制限：

商用性または特定目的への適合性に対する黙示的保証を含め、ここに含まれない明示的または黙示的保証は一切行いません。

## **故障の除外：**

ViewSonic の責任範囲は、製品の補修または交換を上限とします。ViewSonic の責任の除外：

1. このようなダメージの可能性が知らされていたとしても、本製品の欠陥により生じた他の所有物へのダメージ、不便性によるダメージ、使用の損失、利益の損失、商的机会の損失、のれんの減損、ビジネスパートナーとの関係性への干渉、その他の商的損失。
2. 偶発的、派生的に生じた故障。
3. 第三者からのお客様に対する苦情。

## **現地法の有効性：**

この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。一部の行政は示唆的保証の制限、偶発的または派生的ダメージの例外を認めない場合があります。その場合は、上記の制限や例外は適用されません。

## **米国およびカナダ以外での販売：**

米国およびカナダ以外の国で販売された ViewSonic 製品に関する保証やサービスについては、ViewSonic またはお近くの販売店へお問合せください。

中国本土（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品の保証期間は、メンテナンス保証カードに記載されている条件に基づきます。

ヨーロッパおよびロシアのお客様については、保証内容はホームページでご覧いただけます ([www.viewsoniceurope.com](http://www.viewsoniceurope.com) under Support/Warranty Information)。



**ViewSonic®**